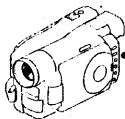
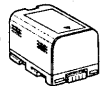




お出かけ前に機材のチェック



試し撮りをしてからお出かけください。



十分充電されていますか？
予備をお持ちの方は、撮影時間に応じた本数をお持ちください。
1個の使用時間の目安：40分～1時間（DZ-BP16）



空き容量は十分ですか？
予備をお持ちの方は、撮影時間に応じた枚数をお持ちください。
1枚の撮影・記録時間の目安：両面60分（FINEの場合）
両面120分（STNDの場合）
静止画のみ：1998枚（両面）

あると便利

- ACアダプター/チャージャー：バッテリーの充電ができます。
- DCパワーコード：電源コンセントから電源がとれます。

愛情点検



長年ご利用のDVDカメラの点検をぜひ！

このようなことは
ありませんか？

- 電源コード・プラグが異様に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

DVDカメラの補修用性能部品の最低
保有期間は、製造打ち切り後8年です。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客さまメモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名 _____ 電話 () _____

ご購入年月日 _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製品本体と保証書の製品
番号が一致しているかご確認ください。

新商品情報・商品選択など、家電品のお買物相談を承る窓口

0120-312111

お買物相談センター

株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12

電話 (03) 3502-2111

QR32456©Hitachi,Ltd.2000

Printed in Japan 00-T (CN)

HITACHI

DZ-MV100形 DVD-RAM 取扱説明書



本機で撮影・再生するには、8cmDVD-RAM規格およびDVDビデオレコーディング規格に準拠した8cm DVD-RAMディスクが必要です。

1 はじめに

2 準備

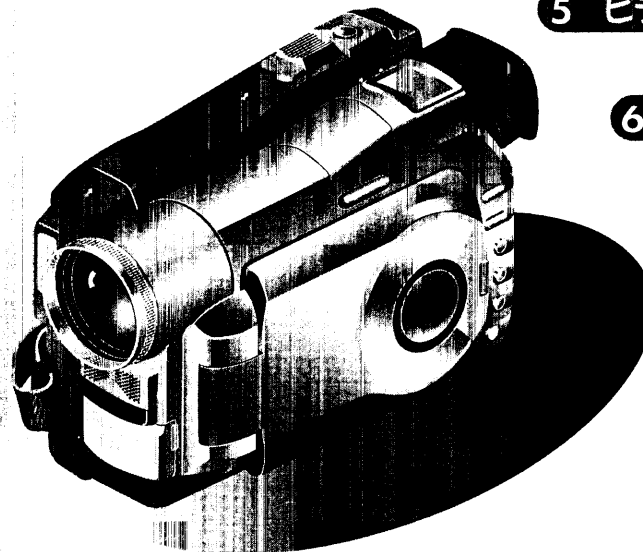
3 撮る

4 撮った映像を見る・削除する・編集する

5 ビデオカメラを設定する

6 他の機器と接続する

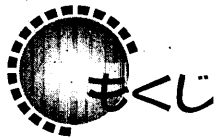
7 参考



このたびは、日立DVDカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

DZ-MV100形 日立DVDカメラ 取扱説明書

HITACHI



まずは撮って見る	4
はじめに	9
本機の特長	10
安全にお使いいただくために	12
使用上の注意	19
保管上の注意	22
ご注意いただきたいこと	23
付属品の確認	24
各部の名称	27
DVD-RAM ディスクについて	31
準備	37
バッテリーパックの準備	38
コンセントにつないで使う	44
ビデオカメラの準備	46
日付と時刻を設定する	51
リモコンの準備	53
リモコンの使いかた	54
撮る	55
ビデオカメラの基本的な扱いかた	56
動画（ビデオ）を撮る	64
動画のいろいろな撮影方法	69
静止画を撮る	80
撮った映像を見る・削除する・編集する	89
再生する	90
ディスクナビゲーションの使いかた	95
ディスクナビゲーションを起動する	98
ディスクナビゲーションの操作に使用するボタン	99

シーンを選ぶ	102
ディスクナビゲーションで再生する	104
メニューを使って削除する	106
シーンを飛ばして再生する（スキップ設定）	107
メモを付ける	109
特殊効果を付ける	112
動画を分割する	114
新しいプレイリストを作る	117
メッセージが表示されたとき	124
ビデオカメラを設定する	127
操作音を消す／鳴らす	128
パワーセーブを解除する／時間を変更する	129
日付と時刻の表示方法を変更する	130
すべての設定を初期設定に戻す	131
システムリセット	132
DVD-RAM ディスクの残り記憶容量を確認する	133
DVD-RAM ディスクを初期化する	134
管理情報を更新する	136
他の機器との接続	137
テレビで見る	138
他のAV機器からの映像を録画する	140
パソコンにデータを取り込む	144
参考	149
別売品の紹介	150
お手入れのしかた	151
海外で使うとき	152
メッセージが表示されたら	153
故障かな…と思ったら	155
保証とアフターサービス（必ずお読みください）	162
主な仕様	164
索引	166



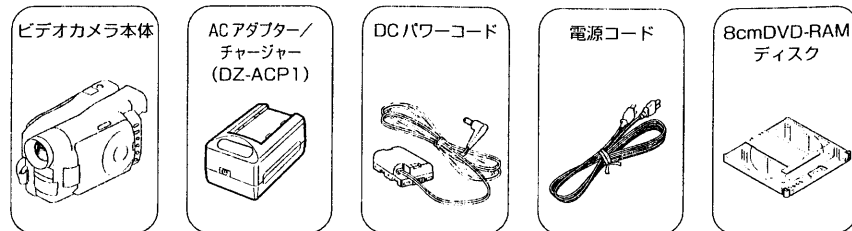
まずは撮って見る

まず、家庭用コンセントから電源をとって撮影・再生してみましょう。本格的にお使いになるときは、「準備」や「撮る」の章をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

▶▶ ご注意 ◀◀

ここで使用するものをピックアップする前に、まずP.24「付属品の確認」をお読みのうえ、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

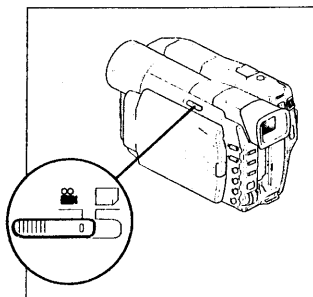
ここで使用するもの



バッテリーパックをお使いになるときは、P.38を参照してバッテリーパックを充電してください。

撮影してみる

1. 記録モードスイッチが動画モード (📹) に設定されていることを確認します。

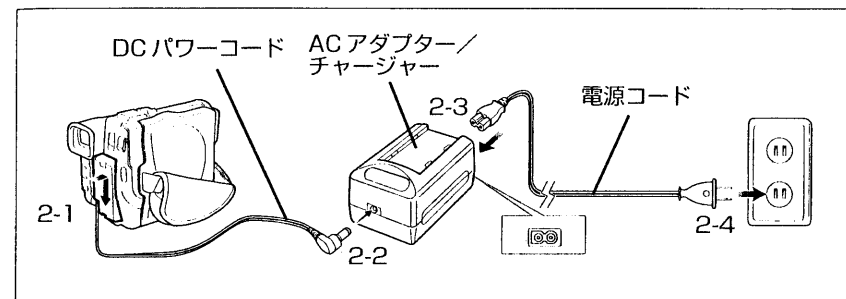


2. ビデオカメラに AC アダプター/チャージャーを接続します。

2-1 付属のDCパワーコードのカメラ接続側の端子をビデオカメラのバッテリー取り付け部に取り付けます。

バッテリー取り付け部の上端にDCパワーコードの上端を合わせ、ビデオカメラに押し付けながら下方向へ「カチッ」と音がするまでずらしてください。

- 2-2 DCパワーコードのもう一方の端子をACアダプター/チャージャーのDC出力端子 (DC OUT) に差し込みます。
- 2-3 電源コードをACアダプター/チャージャーのAC入力端子 (AC IN) に差し込みます。
- 2-4 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



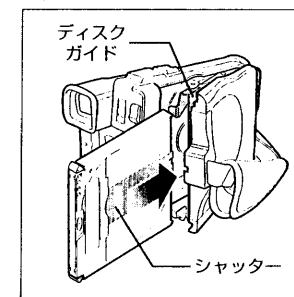
3. DVD-RAMディスクをカートリッジのまま入れます。

3-1 電源スイッチをOFFのまま「取出し」ボタンを押し下げると、ディスク挿入部 (グリップベルト) のふたが少し開きます。

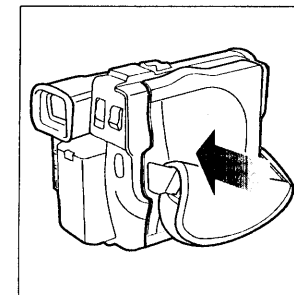
3-2 ふたを手で開きます。

3-3 DVD-RAMディスクの記録したい面 (A面またはB面) をグリップベルト側に向け (👉 P.35)、カートリッジのシャッター側を奥にしてディスクガイドに挿入します。

途中で1回止まりますが、ロックされるところまでゆっくり挿入してください。



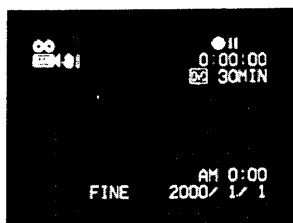
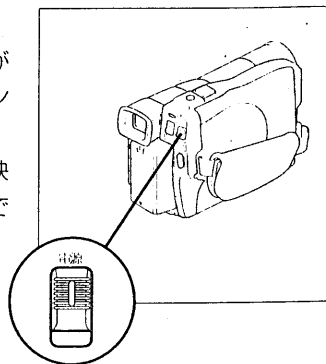
3-4 ディスク挿入部 (グリップベルト) ふたの「PUSH」部分を「カチッ」と音がするまで、押し閉じます。



4. 電源を入れます。

電源スイッチをスイッチ中央のボタンを押しなが
ら、1回押し下げます。ボタンの中央部に赤いラン
プがつきます。

電源を入れると、ビューファインダーに映像が映
り、ディスクの認識を開始します。約25秒程度で
記録一時停止状態になります。



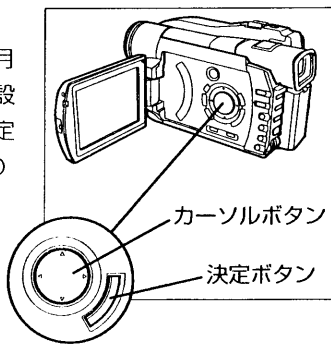
(出荷時の日付は2000/1/1になっています)

ヒント

- ・ビューファインダーで見る場合は、ビューファインダーをいっぱい引き伸ばし、適切な角度に調整して目をアイカップに当てて、視度調節つまみで調節してください(☞ P.57)。液晶画面を開けば、映像を液晶画面で確認することもできます。

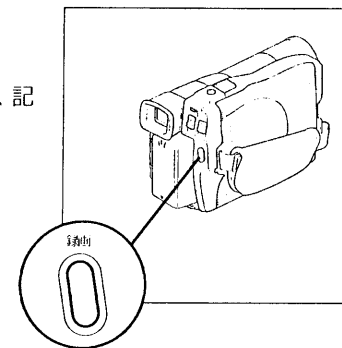
5. 日付と時刻を設定します (☞ P.51)。

初めて本機に電源を入れたときは、「2000年1月
1日」に設定されています。日付と時刻を正確に設
定することは重要です。正しい日付と時刻を設定
せずに撮影すると、「ディスクナビゲーションの
使いかた」で説明するプログラム、シーンの日付
と時刻が正しく記録されません。詳しい設定方
法はP.51「日付と時刻を設定する」を参照し
てください。



6. 撮影します。

「録画」ボタンを押すと、撮影が始まります。
もう一度「録画」ボタンを押すと撮影が終了し、記
録一時停止状態になります。



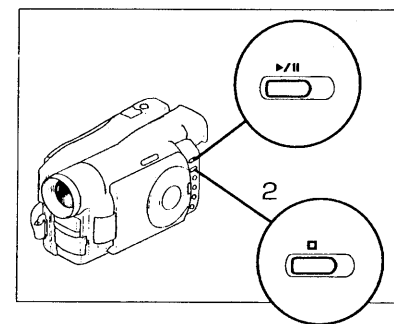
再生してみる

1. 記録一時停止状態で、[▶/II] を押します。

ビデオカメラが再生モードになり、撮っ
た映像の最初の場面から表示されます。

ヒント

- ・撮った映像を本格的に再生したり編集する
ときには、ディスクナビゲーション (☞
P.95) を使用すると便利です。



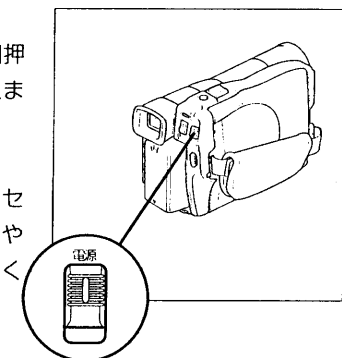
2. 停止します。

[◻] を押すと再生が停止し、記録一時停止状態になります。

3. 電源を切ります。

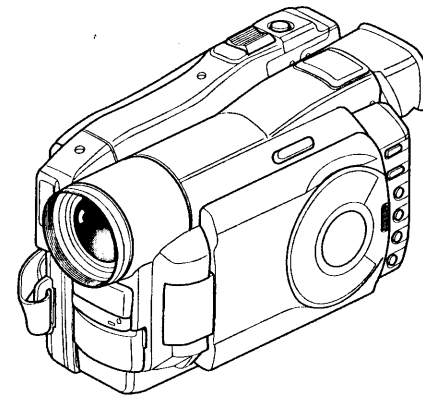
電源スイッチ中央のボタンを押しなが
ら、1回押し下げます。ボタン中央部の赤いランプが消え
ます。

ランプが消えるまで少し時間がかかります。
電源スイッチ中央のランプおよびディスクアク
セスランプが完全に消えるまでバッテリーパックや
ACアダプター/チャージャーを取り外さないでく
ださい。



はじめに

本機の特長	10
安全にお使いいただくために	12
使用上の注意	19
保管上の注意	22
ご注意いただきたいこと	23
付属品の確認	24
各部の名称	27
DVD-RAM ディスクについて	31



本機の特長

本機の特長

DVD-RAM ディスクに録画

本機は、世界初のDVD-RAMディスク使用のデジタルビデオカメラです。撮影した映像・音声は、両面で約2.8GBの記録が可能な8cmDVD-RAMディスクに記録されます。DVD-RAMディスクを採用しているため、誤って重ね撮りで消してしまう心配もなく、大切な映像や画像をいつまでも美しく保存できます。また、ビデオテープと違って早送りや巻き戻しの必要がないため、すぐに撮影・再生ができます。

その他、8cmDVD-RAM対応のDVD-RAMドライブとソフトを搭載したパソコンでは、ディスクをセットするだけで簡単に録画した映像を楽しむことができます。

動画と静止画の撮影

従来のビデオカメラと同様、楽しいイベントやスポーツなどを動画(ビデオ)で撮影できます。また、普通のデジタルカメラと同様に、静止画も撮れます。110万画素の高画質CCDを搭載しているため、動画・静止画とも高画質で記録できます。動画・静止画いずれも光学12倍×デジタル4倍ズームによる最大48倍のズーム撮影ができ、記録モードを切り換えるだけで、1枚のディスク上に動画と静止画を混在させて記録できます。

記録した映像や画像をその場で確認

撮影中の映像や画像を、ビューファインダーだけでなく液晶画面でも確認でき、撮影状況に応じて使い分けることができます。また、撮影結果をその場で簡単に確認することもできます。

カメラだけでさまざまに編集

本機には、ディスクナビゲーションという便利な編集・再生ツールが用意されており、これを使えば、撮影した映像や画像にタイトルやメモ、映像効果などを簡単に付けることができます。また、再生の順序を入れ換えたり、複数の映像を編集して連続再生ができるため、パソコンに取り込んで編集しなくても、本機だけでちょっとしたムービー作品を作成できます。

いろいろな機器と接続して楽しむ











本機をテレビにつないで、大画面の映像を大勢で楽しむことができます。また、記録した映像・音声のデータをパソコンに取り込んで、マルチメディアコンテンツやインターネットのホームページの素材などとして活用することもできます*。

撮影した静止画は、パソコンに取り込んでカラープリンターで印刷するだけでなく、市販のビデオプリンターにつないで印刷することもできます。









※別売のPC接続キット(DZ-WINPC1)、または対応したDVD-RAMドライブを搭載したパソコンが必要です。

本機の特長



警告

異常なときは使わない	煙が出ている、変なにおいがするなど異常なときは、ただちに使用を中止し、バッテリーパックやACアダプター/チャージャーなどの電源を外してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。修理については、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから、絶対にお止めください。ビデオカメラを落としたりして強い衝撃を与えると、ケースが破損し、異常な状態になることがあります。	 禁止 
分解・改造しない、カバーを開けない	ビデオカメラ・ACアダプター/チャージャーを分解・改造すると、火災や感電の原因となります。カバーの内部には、電圧の高い危険な部分もあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。	 分解禁止
内部に異物を入れない	ビデオカメラ・ACアダプター/チャージャーの内部に水や金属類、燃えやすいものを入れないでください。火災や感電の原因となります。万一異物が内部に入った場合は、すぐに使用を中止し、バッテリーパックやACアダプター/チャージャー・電源コードを外して販売店にご相談ください。	 禁止 
自動車などの運転中は使わない	自動車・オートバイ・自転車などの運転中に撮影や再生をしないでください。交通事故の原因となります。	 禁止
歩きながら使うときは、周囲の状況に注意する	歩きながら使用すると、転倒や交通事故の原因となることがあります。また、不安定な場所での撮影は、転倒や転落などにより事故や大けがの原因となります。撮影するときは、周囲の状況に注意を払ってください。	
雷が鳴るときは使わない	屋外で使用中に雷が鳴り出したら、安全のため使用を中止してください。	 禁止
ACアダプター/チャージャーを水にぬらさない	風呂場やシャワー室などの水のかかるところでACアダプター/チャージャーを使用しないでください。火災や感電の原因となります。	
ACアダプター/チャージャーは電源コンセントの近くで使用する	ACアダプター/チャージャーは、電源コンセントの近くで使用してください。タンスの裏や机の下など、手の届きにくいところの電源コンセントには差し込まないでください。	









警告

ACアダプター/チャージャーのケースを破損しない	万一落としたりしてケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。	
ACアダプター/チャージャーは風通しのよい広い所で使用する	ACアダプター/チャージャーは、風通しのよい広い所で使用してください。内部に熱がこもり、ケースが変形するだけでなく、火災・やけど・感電・故障のおそれがあります。周囲の風通しをさえぎるせまい場所や、物の近く、またはその中で使用しないでください。	
電源コードを破損しない	電源コードを破損しないよう、取り扱いの際は、次のことを守ってください。 ・刃物などで傷つけない ・ねじらない ・無理に曲げない ・重いものや角が鋭利なものをのせない ・加熱しない ・引っ張らない ・加工しない ・束ねない ・敷物などでおおわない	 禁止
電源プラグは完全に接続する	電源プラグが破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。	
たこ足配線をしない	電源プラグの接続が不完全なまま使用すると、接触不良で発熱し、火災の原因となります。	  禁止
電源プラグに異物を付着させない	電源プラグにほこりや汚れ、金属などの異物が付着したまま使用すると、発熱し、火災や感電の原因となります。異物が付着したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で異物を取り除いてください。	 禁止
市販の電子式変圧器は使わない	海外旅行用に市販されている電子式変圧器にACアダプター/チャージャーを接続しないでください。火災や感電の原因となります。	 禁止

警告

ショルダーストラップを首に巻きつけない	窒息の原因となります。	
同梱品のビニール袋に注意する	同梱品が包装されているビニール袋をかぶると、窒息の原因となります。	

注意

バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトは正しく取り付ける	取り付けかたが不完全なまま使用すると、落下などにより、けがの原因となることがあります。	
水にぬらさない	本機に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。故障の原因となります。雨天時、降雪時、海岸や水辺での使用時には、特にご注意ください。	 水ぬれ禁止
レンズ・ビューファインダーを太陽光に向けない	レンズ・ビューファインダーを太陽光に向けたままにしておくと、集光により発熱し、火災の原因となることがあります。	
航空機の中では使わない	航空機の中など、使用を制限または禁止されているところでは使用しないでください。本機の出す電磁波により、航空機の計器類に影響を及ぼすことがあります。	
幼児の手の届くところに置かない	ディスク挿入部のふたなどに手をはさまれて、けがの原因となることがあります。お子様が触らないようご注意ください。	
内部の部品にふれない	ディスク挿入部のふたを開けて、中に指を入れたり、内部の部品にふれたりしないでください。けがの原因や故障の原因となることがあります。	
不安定な場所で三脚を使わない	倒れてけがの原因となります。	
三脚を付けたまま持ち運ばない	持ち運んでいるときの振動や衝撃により、三脚のねじがゆるんでビデオカメラが落下し、けがの原因となることがあります。	

注意

かゆみ・かぶれ・湿疹などに注意する	お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じることがあります。そのような場合は、ただちに使用を止め医師の診断を受けて下さい。	
ビデオカメラを落とさない	ガラス部分が壊れ、けがの原因となることがあります。またバッテリーパックが破損すると、液漏れにより、けがや周囲の汚損の原因となります。	
電源コードや接続ケーブルに注意する	電源コードや接続ケーブルに足を引っ掛けると、転倒したりけがの原因となることがあります。	
DVD-RAMディスクの取り出しに注意する	DVD-RAMディスクは、長時間使用すると高温になります。電源を切って十分時間が経ってから取り出すようにしてください。	
電源コードを引っ張って抜かない	コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。	
ぬれた手でプラグの抜き差しをしない	ACアダプター/チャージャーのプラグを抜き差しするときは、ぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。	 ぬれ手禁止
電源コードを熱器具に近づけない	コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。	
長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントにつないだまま長期間放置すると、火災の原因となることがあります。	
ACアダプター/チャージャーを振動の多いところに置かない	振動によって内部部品が破損すると、発熱し、火災や故障の原因となることがあります。	
ACアダプター/チャージャーをほこりや湿気の多いところに置かない	内部にほこりや水分が入ると、火災や感電の原因となることがあります。	
ACアダプター/チャージャーを油煙や湿気の当たるところに置かない	調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。	

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

使用上の注意

注意

乾電池の向きに注意する リモコンに電池を入れるときは、極性に注意してください。向きを間違えて入れると、電池の破裂や液漏れを招き、火災やけが、やけど、汚損の原因となります。

万一液漏れしたときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。



バッテリーパックや乾電池の保管場所に気をつける 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。



乾電池に直接ハンダ付けしない 火災や感電の原因となることがあります。



禁止

安全にお使いいただくために

使用上の注意

液晶画面の取り扱いにご注意ください

- ・ 液晶画面は、とても繊細な表示装置です。壊れやすいので、表面を強く押ししたり、叩いたり、先の尖ったもので突いたりしないでください。
- ・ 表面を押すと、表示ムラができることがあります。表示ムラがなかなか消えないときは、いったん電源を切り、しばらく待ってから入れ直してください。
- ・ 液晶画面を下側にしてビデオカメラを置かないでください。
- ・ ビデオカメラを使用しないときは、液晶画面を閉じておいてください。

液晶画面・ビューファインダーについて

- ・ 液晶画面やビューファインダーは非常に精密度の高い技術で作られています。約20万画素のうち(液晶画面の場合)0.01%以下の画素欠け(黒い点)や常時点灯(赤・青・緑)するものがあります(ビューファインダーも同様です)。これは現在の技術の限界であり、不良ではなく、録画には支障ありません。
- ・ 寒冷地など本体が冷えきっている場合や電源を入れた直後は、液晶画面やビューファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

正しい持ちかたをしてください

ビューファインダーや液晶画面をつかんで本機を持ち上げると、ビューファインダーや液晶画面が外れて、本機が落下することがあります。

衝撃を与えないよう、ご注意ください

- ・ 本機は精密機械です。硬いものにぶつかけたり、落としたりしないよう、十分注意して取り扱ってください。
- ・ 三脚に固定して使用するときは、極度に振動、衝撃の大きいところで使用しないでください。

砂やほこりがかからないよう、ご注意ください

細かい砂やほこりがビデオカメラ・ACアダプター／チャージャーの内部に入ると、故障の原因となります。

水や油がかからないよう、ご注意ください

ビデオカメラ・ACアダプター／チャージャーの内部に水や油が入ると、感電や故障の原因となります。

製品表面の熱について

本機は製品表面が多少熱くなりますが、故障ではありません。特にカメラ底部が熱くなりますので触れるときには、ご注意ください。

環境の温度にご注意ください

- ・ 気温40℃以上の暑いところや、0℃以下の寒いところで使用すると、正常に撮影／再生できないことがあります。
- ・ 海岸の砂の上や締め切った車内などに長時間放置すると、故障するおそれがあります。

太陽に向けてはいけません

- ・ レンズやビューファインダーに直射日光が当たると、本機が故障したり火災が発生するおそれがあります。
- ・ 液晶画面を直射日光に当てたまま放置すると、故障の原因となります。

テレビやラジオの近くで使わないでください

テレビ画面にノイズが出たり、ラジオに雑音が入ることがあります。

強い電波や磁気のあるところで使わないでください

電波塔の近くやモーターが含まれる電化製品のそばなど、強い電波や磁気のあるところで使用すると、映像・画像・音声の記録時に雑音が入ることがあります。また、正常に記録されている映像・画像・音声でも、再生時に雑音が入ることがあります。ビデオカメラが故障することもあります。

油煙や湯気の多いところで使わないでください

本体ケースが変形したり、故障の原因となります。

腐食性ガスがあるところで使わないでください

ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン等の排気ガスや硫化水素のような腐食性のガスがあるところで使用すると、バッテリーパック取付け端子が腐食し、電源が入らなくなることがあります。

超音波加湿器の近くで使わないでください

加湿器に入っている水の水质によっては、水中に溶けているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機の光学ヘッドに白い粉として付着して、本機が正常に動作しなくなることがあります。

殺虫剤などがかからないようにしてください

本機の内部に殺虫剤などが入ると、光ヘッドが汚れ、本機が正常に動作しなくなることがあります。殺虫剤等を使用するときは、本機の電源を切り、ビニールシート等でカバーしてください。

ディスク挿入部から本機の内部をのぞき込まないでください

本機では、レーザー光を使ってデータが読み書きされています。本機からディスクを取り出すときなどに、ディスク挿入部から本機の内部をのぞき込むと、レーザー光が目に入って、目を傷めることがあります。

露つきにご注意ください

スキー場のゲレンデからロッジに入ったり、冷房の効いた部屋や車内から屋外に出たりしたときに、極端な温度差によりレンズやビデオカメラの内部に結露（暖かい水蒸気が急速に冷やされて水滴になること）することがあります。できるだけディスク挿入部のふたは開けないでください。レンズが結露した場合は、乾いた布でふき取ってください。外部が乾いても内部に結露が残っている場合があります。電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に1～2時間以上放置して、乾いてからお使いください。

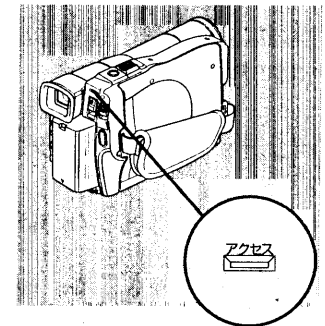
長時間連続して使うことはできません

- ・ 本機は一般のご家庭での撮影／再生を目的として作られています。監視カメラやモニターとして長時間連続して使用することはできません。
- ・ 長時間連続して使用した結果、温度が一定限度を超えて上昇すると、記録・再生動作が遅くなることがあります。この場合は、電源を切ってしばらく経ってから使用してください。

ディスクアクセスランプが点滅しているときは、ビデオカメラの電源を切らないでください

- ・ ディスクアクセスランプが点滅しているときは、DVD-RAMディスクにデータが書き込まれたり、読み出されたりしています。このときに以下のことをするとデータが壊れるおそれがあります。

- ・ バッテリーパックを取り外す
- ・ ACアダプター／チャージャーとの接続を外す
- ・ PC接続ケーブル（別売）を抜き差しする
- ・ DVD-RAMディスクを取り出す



ディスクアクセスランプが点滅しているときに、万一電源を切ってしまった場合は、ディスクカートリッジを入れたまま、再度電源を入れてください。

本体ケースをベンジンやシンナーなどでふかないでください

- ・ 本体ケースの塗装がはがれたり、変形することがあります。
- ・ 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きに従ってください。

別売アクセサリの説明書もお読みください

別売のアクセサリについては、それぞれの注意書きや取扱説明書の指示に従ってください。

使用上の注意

保管上の注意

非常に高温になるところに長時間放置しないでください

締め切った車内やトランク内は、非常に高温になります。そのような場所に置いたままにすると、本機が故障したり、本体が変形したりするおそれがあります。また、直射日光が当たるところや熱器具の近くにも置かないでください。

湿気やほこりの多いところで保管しないでください

ビデオカメラの内部にほこりが入ると、故障の原因となります。また、湿気が多いと、レンズにカビが生えて使えなくなることがあります。押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に箱に入れることをお勧めします。

強力な磁気や激しい振動のあるところに置かないでください

故障の原因となります。

バッテリーパックは、ビデオカメラから取り外して涼しいところで保管してください

取り付けたままにしたり、高温のところでは保管すると、バッテリーパックの寿命を縮める原因となります。

ご注意ください

ためし撮りをしましょう

本番前に必ずためし撮りをして、正常に記録されることを確認してください。本機の故障のため正常に記録できなかったデータは復元できません。

録画内容の補償はできません

本機やDVD-RAMディスクの不具合により、正常に記録されなかったり、再生できなくなった記録内容の補償はご容赦ください。また、お客様が撮影された映像や音声に関しても、当社は一切責任を負いません。

著作権について

お客様が他のデジタル/アナログのメディア/機器から本機のDVD-RAMディスクに記録したデータは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。また、実演や興業、展示物などは、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

本書について

本書内の写真について

本書内では、ビューファインダーや液晶画面に映る映像の説明に、デジタルスチルカメラで撮った写真を使用しています。実際にご覧になれる映像とは異なることをご了承ください。

メニュー画面について

本書の操作説明の中では、「記録一時停止状態のときに、メニューボタンを押します。」と記載されていますが、DVD-RAMディスクを本機に入れていない状態でも、メニューボタンを押せばメニュー画面が出ます。

ご注意ください

付属品の確認

箱を開けたら、付属品がすべてそろっているか、必ず確認してください。

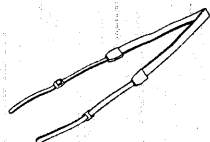
付属品の確認

バッテリーパック
(型番：DZ-BP16)



本機の携帯用電源です。充電してからお使いください。

ショルダーストラップ



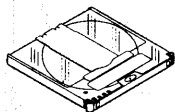
本機を肩から下げるためにビデオカメラに取り付けます。

AV入出力ケーブル



本機の映像と音声をテレビで見るときや、他のビデオ機器に映像と音声を入出力するときに使用します。

8cmDVD-RAM ディスク



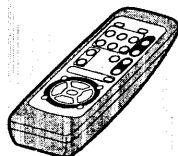
本機の映像と音声を記録します。このディスクは初期化済みです。

ACアダプター／チャージャー
(型番：DZ-ACP1)



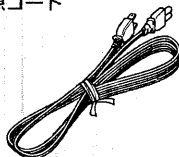
家庭用コンセントから電源をとるときに使用します。バッテリーパックを充電するときにも使用します。

リモコン (型番：DZ-RM1)



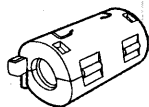
本機を遠隔操作するときに使います。

電源コード



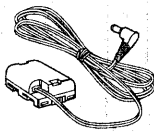
家庭用コンセントとACアダプター／チャージャーとを接続します。

フェライトコア2個



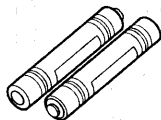
DCパワーコードとAV入出力コードに取り付けます。

DCパワーコード



家庭用コンセントから電源をとるときに、本機とACアダプター／チャージャーとを接続します。

リモコン用単3乾電池2個



リモコン用の電池です。

レンズキャップ
レンズキャップひも



撮影していないときは、レンズ保護のためレンズキャップを付けてください。

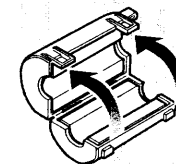
フェライトコアを取り付けましょう

付属のDCパワーコードとAV入出力ケーブルをお使いになる前に、必ず付属のフェライトコアを取り付けてください。

本書内のDCパワーコードとAV入出力ケーブルのイラストにはフェライトコアが取り付けられていませんが、お使いになる前に以下の手順で必ず取り付けてください。

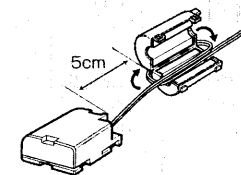
(フェライトコアは、ラジオやテレビなどへの電波妨害を低減するためのものです。)

1. コアのカバーを開きます。

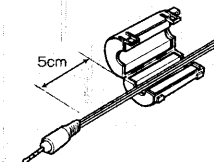


2. コアをDCパワーコード、AV入出力ケーブルの端から約5cmのところ、取り付けます。

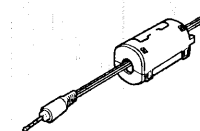
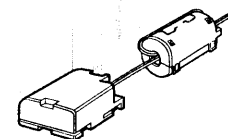
DCパワーコードは1回巻きつけます。



AV入出力ケーブルは巻きつけません。

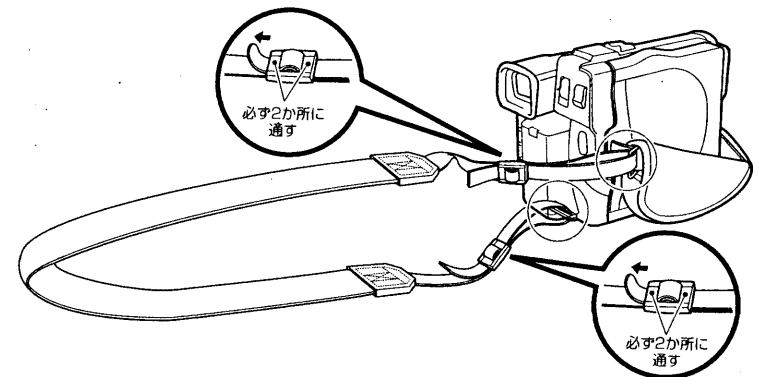


3. DCパワーコード、AV入出力ケーブルをはさまないように、コアのカバーを閉じます。



付属品の確認

ショルダーストラップを付けましょう

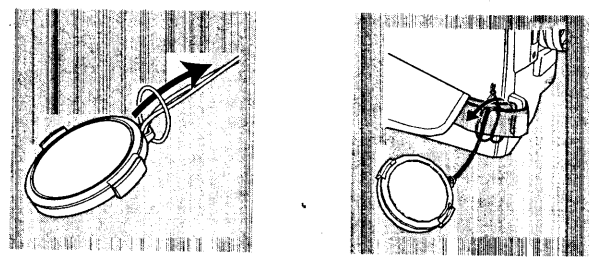


付属品の確認

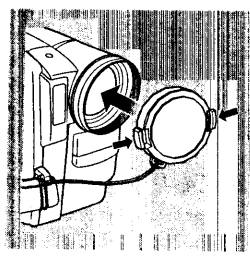
レンズキャップを付けましょう

付属のひもをレンズキャップの穴に通し、本体のハンドストラップに取り付けます。

1. 本機とレンズキャップを、ひもで結びます。



2. レンズキャップの両サイドを押しながらレンズに取り付けます。



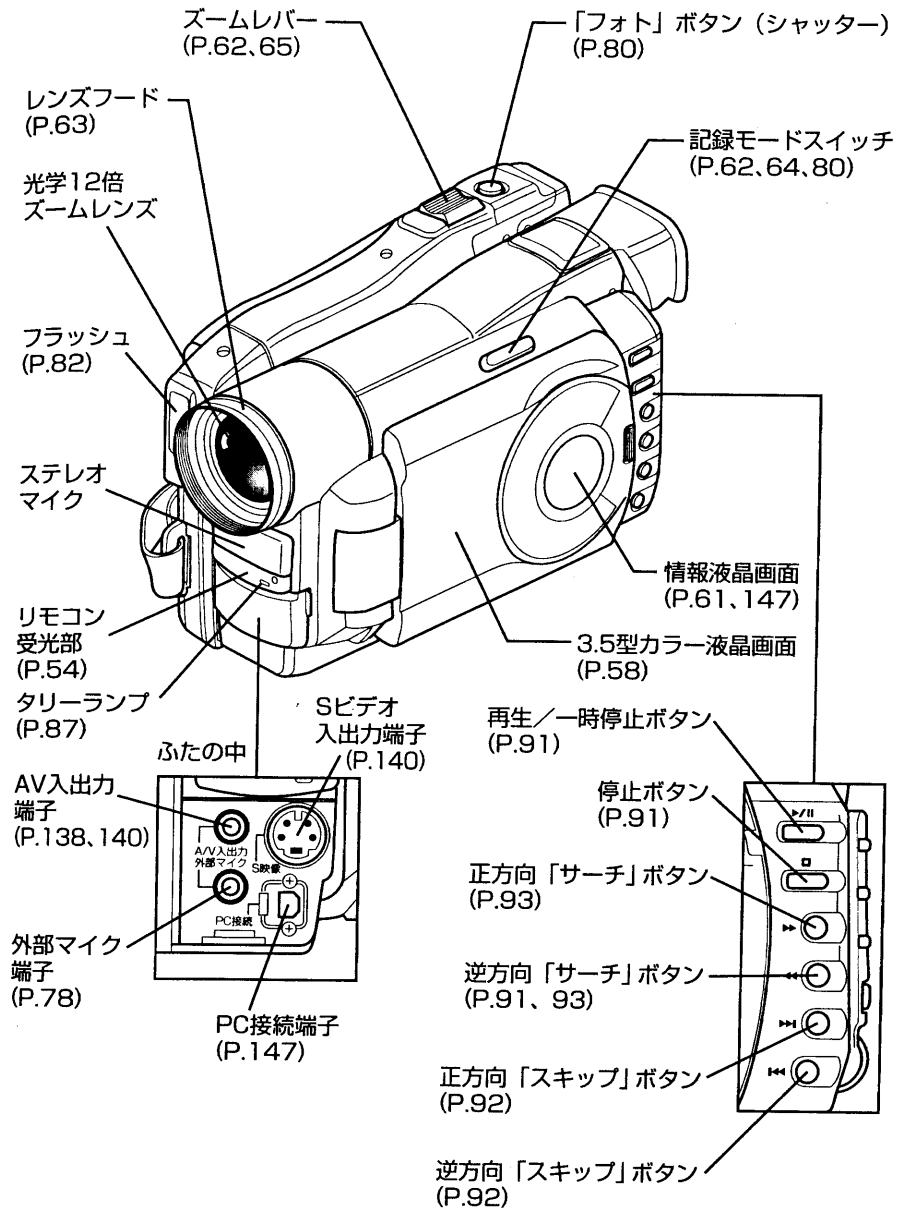
◆◆ ご注意 ◆◆

本機を使用しないときは、レンズ保護のために必ずレンズキャップを付けてください。

hint hint

撮影するときは、レンズキャップ内側のつめをハンドストラップに取り付けておくと便利です。

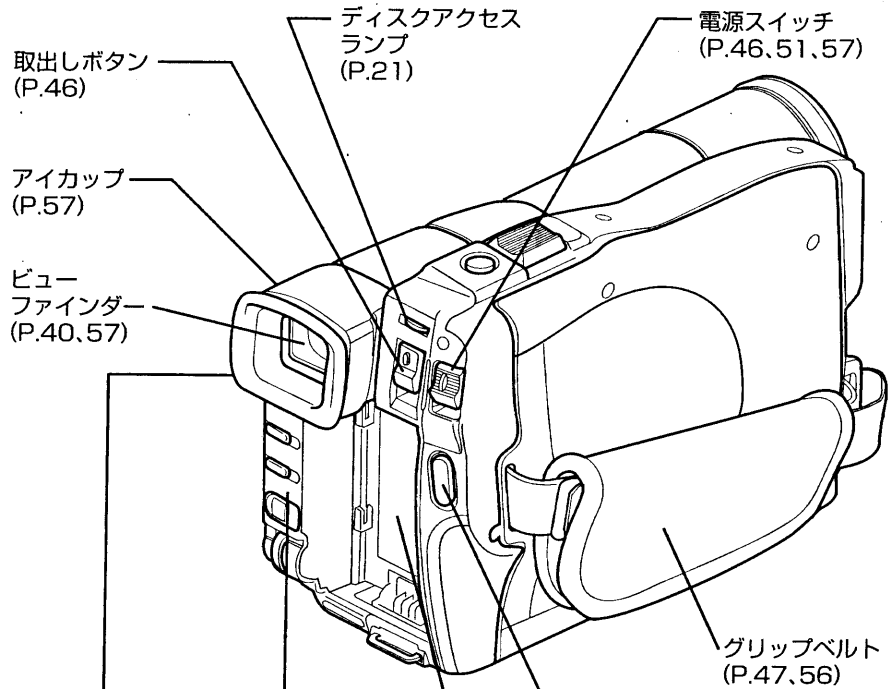
各部の名称



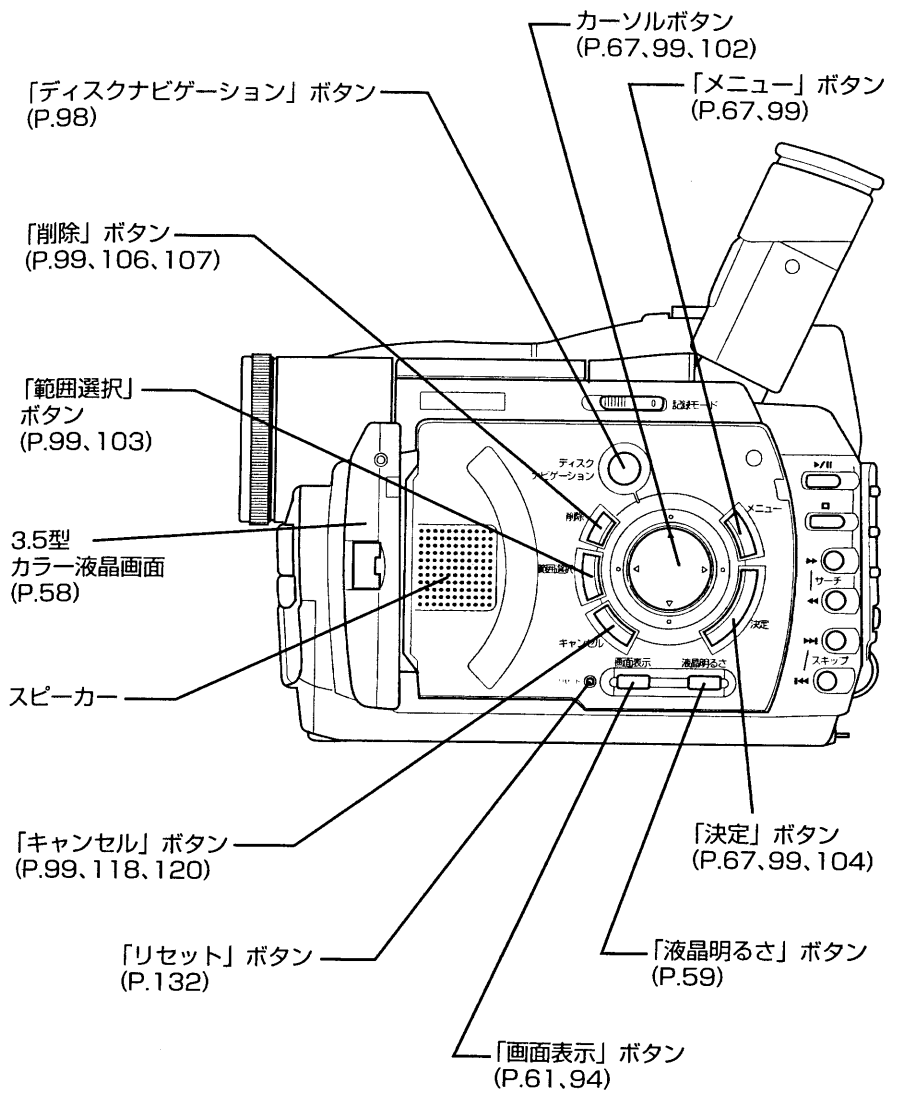
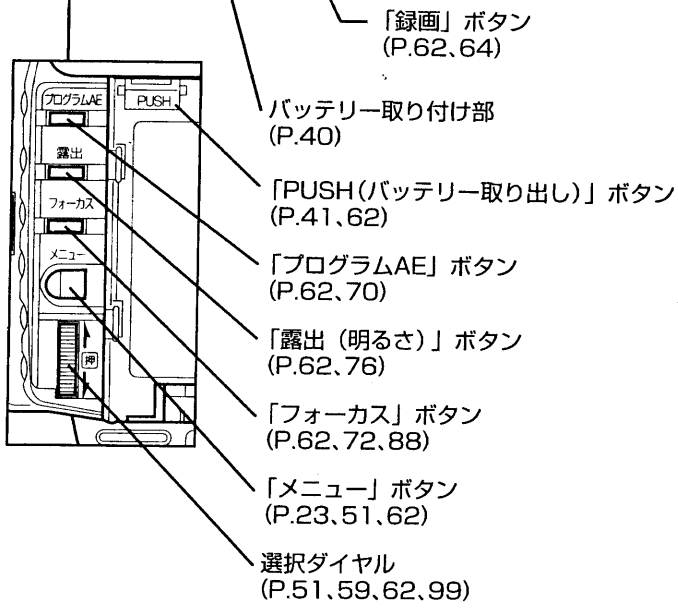
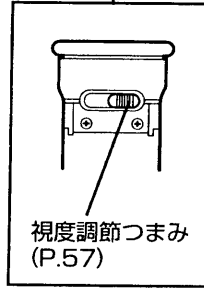
各部の名称

各部の名称

各部の名称



下部





DVD-RAM ディスクについて

DVDとは

DVDは Digital Versatile Discの略語で、直訳すればデジタル多用途ディスクという意味になります。高画質のデータを大量に記録できることから、コンピュータやゲーム機器業界からも注目され始めました。同時に、これまで映像・サウンド・データでそれぞれ異なっていた記録フォーマットを統一することで、互換性の高い開かれたマルチメディアの実現も期待されています。そうした状況下でDVDフォーラムが発足し、世界各国の200社以上が参加して、あらゆる分野の要望を取り入れながら、次世代のユニバーサルメディアとしての規格化が進められています。この規格に準拠した製品としては、AV分野での普及が目覚ましいDVD-Videoをはじめ、コンピュータ用としてのDVD-ROM（再生専用）、DVD-R（追記型）、DVD-RAM（書き換え可能型）などがあり、いずれもCDと同じ直径12cmのディスクが採用されています。

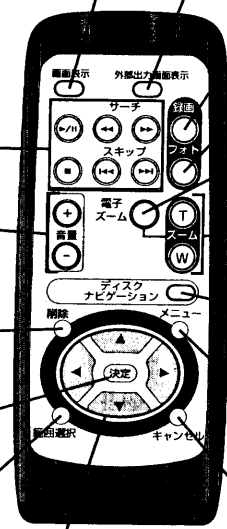
DVD-RAMの規格について

平成12年8月時点で流通している12cmDVD-RAMディスクは、DVD-RAM規格Book1.0に準拠した、片面の記憶容量が2.6GBのディスクがほとんどです。DVDフォーラムでは1999年に新たなBook2.1の規格を策定しており、より大容量の片面4.7GBの12cmディスク、およびこれと同密度の片面1.4GBの8cmディスクが規定されています。このBook2.1の規格に準拠した8cmDVD-RAMディスクは、そのコンパクトさと大容量のため、デジタル記録メディアとして期待されており、本機は、家庭用デジタルビデオカメラ用としては世界に先駆けての採用となります。(平成12年8月現在)

DVD-RAM 規格の Book	Book2.1		Book1.0
直径	12cm	8cm	12cm
記録容量	片面 4.7GB 両面 9.4GB	片面 1.4GB 両面 2.8GB	片面 2.6GB 両面 5.2GB
転送速度	22.16Mbps		11.08Mbps
使用レーザー	650nm 赤色レーザー		

各部の名称

- 再生/一時停止ボタン (P.91)
- 停止ボタン (P.91)
- 逆方向「サーチ」ボタン (P.91,93)
- 正方向「サーチ」ボタン (P.93)
- 逆方向「スキップ」ボタン (P.92)
- 正方向「スキップ」ボタン (P.92)



- 「画面表示」ボタン (P.61,94)
- 「外部出力画面表示」ボタン (P.139)
- 「録画」ボタン (P.64)
- 「フォト」ボタン (P.80)
- 「電子ズーム」ボタン (P.66)
- 「ズーム」ボタン (P.65)
- 「ディスクナビゲーション」ボタン (P.98)
- 「メニュー」ボタン (P.67,100)
- 「キャンセル」ボタン (P.118,120)
- カーソルボタン (P.102)
- 「音量」ボタン (P.91,94)
- 「削除」ボタン (P.106,107)
- 「決定」ボタン (P.104)
- 「範囲選択」ボタン (P.103)

DVD-RAM ディスクについて

DVD-RAMディスクをカートリッジから取り出すとき ●●●●

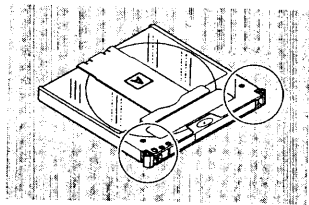
本機で使用するDVD-RAMディスクは、カートリッジから取り出して、8cmDVD-RAM対応のDVD-RAMドライブ、DVDプレーヤー、DVDレコーダーなどで利用することができます。カートリッジからの取り出しかたの詳細については、ディスクの取扱説明書を参照してください。

付属のディスクの取り出しかたは、以下のとおりです。

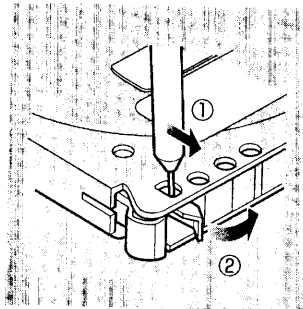
●ディスクの取り出しかた

1. カートリッジのロックピンを外します。

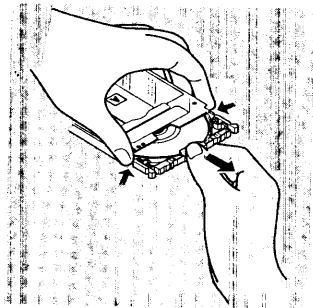
ロックピンは、SIDE A、SIDE Bの左下にそれぞれ1個ずつあります。



先の細いペンなどで、図の矢印①の方向へスライドさせ、矢印②の方向へ回転させて折ります。

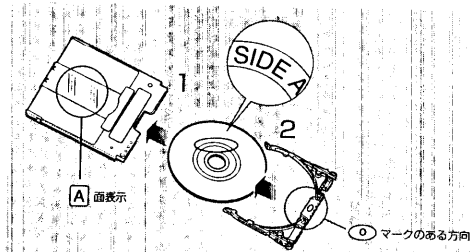


2. 解除レバーを両側から内側へ向けて押しながら、ディスクトレイの中央部をつまんで手前に引き出します。



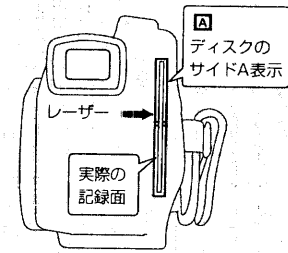
●ディスクの入れかた

1. ディスクをカートリッジに挿入します。
2. ディスクトレイを「カチッ」と音がするまではめ込みます。



ポイント

- 実際のSIDE A記録面は「SIDE A」と表示のある面の反対になります。



▶▶ ご注意 ◀◀

- 貴重な映像を撮影する場合は、必ずカートリッジから取り出していない新品のディスクをご使用ください。
- 市販8cmDVD-RAMディスクは、ビデオカメラ用であれば、ほとんどがカートリッジから取り出して利用できますが、取り出す前にディスクに付属の説明書をご覧ください。また、ディスクのメーカーにお問い合わせをご確認ください。
- また、取り出したディスクは以下のことに注意してお取り扱いください。
 - ・ディスクの表面にさわらない。
 - ・ディスクを落とさない。
 - ・絶対に曲げない。
 - ・裸のまま放置しない。
 - ・熱を加えない。
 - ・表面にマジック・ボールペン・鉛筆などで文字を書かない。
 - ・表面をシンナー・水・帯電防止剤などでふかない。
 付着したほこり、汚れなどは、乾いた柔らかい布を使用し、軽くふき取ってください。なお、溶剤類は絶対に使用しないでください。

カートリッジからディスクを取り出して、本機以外の機器で本機が保存した内容を書き換えた場合、再びカートリッジに戻して本機で使用すると、記録・再生・ディスクナビゲーションが正常に動作しなくなることがあります。

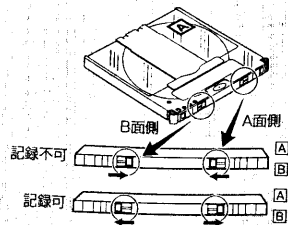
カートリッジは高密度に記録できるディスクの表面を保護するために取り付けられています。カートリッジから取り出したディスクは、再びカートリッジに戻して本機で使用できますが、以下の取り扱いを必ず守るようお願いします。

- ・カートリッジに戻す前に、ディスクの表面に傷・汚れ・指紋がないことを必ず確認してください。
- ・ディスク表面をクリーニングしても、傷・汚れ・指紋が取れないディスクは、記録・編集・削除をしないようにしてください。

- ・ディスクをカートリッジに装着するときには、カチッと音がするまで、はめ込んでください。
- ・簡単な編集や削除でも記録と同様の書き込みが行なわれています。カートリッジから取り出したディスクの場合は、確実に編集や削除ができたかを確認してください。

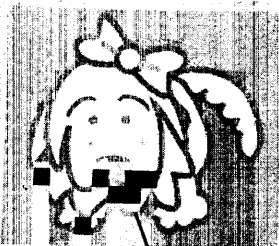
●ライトプロテクトタブ

DVD-RAMディスクカートリッジには、ライトプロテクトタブがあり、記録したデータを保護できます。撮影するときは、ライトプロテクトタブが「記録可」になっていることをご確認ください。



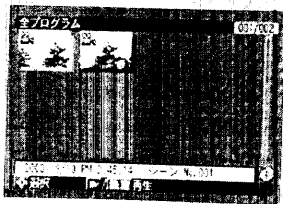
▶▶ ご注意 ◀◀

- ・ディスクの記録は、原理的にディスク表面のゴミ・傷・汚れなどによりブロックノイズが発生する場合があります。これは不良ではありません。ディスクには、汚れや指紋を付けないようにご注意ください。



ブロックノイズ

- ・ディスク表面のゴミ・傷・汚れがある場合、その記録できない部分を避けて記録する機能があります。(一時停止(●||)し、自動で記録(●REC)再開します)。その結果、数秒から数分程度の記録の中断が発生し、図のように一回の記録で複数のサムネイル(📷 P.96)ができます。この場合、記録可能な時間が減少します。



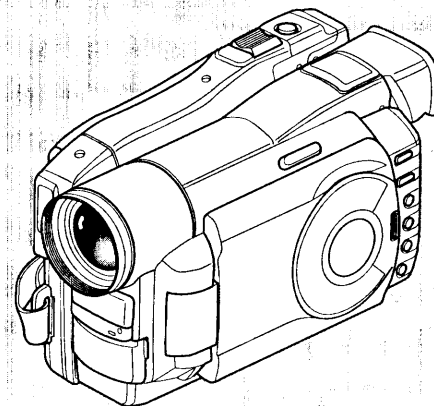
(一回の記録でも2つ以上のサムネイルになることがあります。)

準備

準備を始める前に、P.24「付属品の確認」をご覧のうえ、付属品がすべてそろっているか、必ず確認してください。

ビデオカメラを屋外で使用するときは、バッテリーパックから電源をとります。バッテリーパックの充電をしながら、ビデオカメラを使用する準備をしましょう。

バッテリーパックの準備	38
コンセントにつないで使う	44
ビデオカメラの準備	46
日付と時刻を設定する	51
リモコンの準備	53
リモコンの使いかた	54



バッテリーパックの準備

お買い上げ時は、本機に付属のバッテリーパック(DZ-BP16)は充電されていません。充電してからお使いください。

▶▶ ご注意 ◀◀

- ・ バッテリーパックは、必ず本機専用のもの(DZ-BP16またはDZ-BP28)をお使いください。異なるバッテリーパックをご使用になると、ビデオカメラが故障したり、火災が発生するおそれがあります。

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックは、付属のACアダプター/チャージャーを使って充電します。

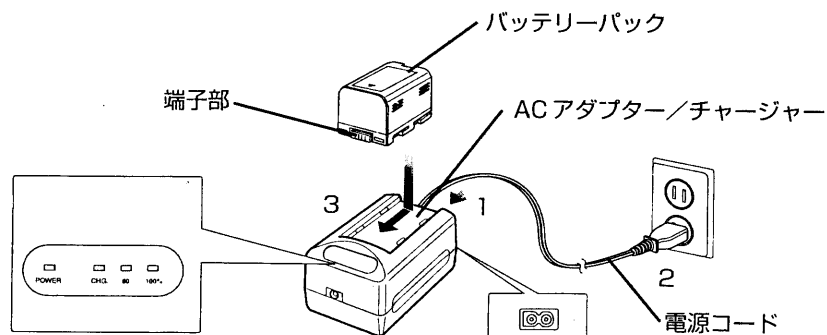
▶▶ ご注意 ◀◀

- ・ ACアダプター/チャージャーにDCパワーコードが接続されていると充電できません。充電する場合は、DCパワーコードを取り外してください。
- ・ 充電は、気温が10℃～30℃の環境で行なってください。
- ・ バッテリーパックの充電には、必ず指定のACアダプター/チャージャー(DZ-ACP1)をお使いください。指定外の充電器で充電すると、感電したり火災が起こるおそれがあります。

1. 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぎます。

2. 電源コードをコンセントに接続します。

ACアダプター/チャージャーのPOWERランプが点灯します。



3. バッテリーパックをACアダプター/チャージャーに取り付けます。

バッテリーパックの端子部を、ACアダプター/チャージャーのDC OUT側に向けて押し付けながら、図の矢印方向にずらしします。

ACアダプター/チャージャーのCHG.ランプが点滅し、充電が始まります(バッテリーパックの残容量により80%ランプが点灯することもあります)。

充電開始後しばらくすると、CHG.ランプが点灯に変わります(このときの記録可能時間は、約15分です)。満充電されると100%ランプが点灯します。

●満充電されたバッテリーパックの連続記録時間 (ズームなどの操作をまったくしない場合)

	DZ-BP16	DZ-BP28 (別売)
ビューファインダー使用時 (FINEモード時)	約105分	約180分
液晶画面使用時 (FINEモード時)	約90分	約150分
ビューファインダー使用時 (STNDモード時)	約125分	約215分
液晶画面使用時 (STNDモード時)	約105分	約180分

満充電のときの実際の記録時間の目安は、約40分～1時間(型番:DZ-BP16)または約70分～100分(型番:DZ-BP28)です

上記の表に示したバッテリーパックの連続記録時間は、撮影を開始してから、そのまま何も行わずにビデオカメラを撮影し続けた場合の記録時間です。実際の撮影では、「録画」ボタンやズームの操作、再生などを行なうため、バッテリーパックはこの2～3倍消耗します。満充電された1個のバッテリーパックの使用時間を40分～1時間(DZ-BP16)または約70分～100分(DZ-BP28)とお考えのうえ、記録予定時間に合った種類と数のバッテリーパックをご用意ください。

また、寒冷地でお使いになるときは、バッテリーパックがより早く消耗するので、ご注意ください。

バッテリーパックの充電時間の目安は以下のとおりです(常温の場合)。

DZ-BP16	DZ-BP28 (別売)
約90分	約170分

バッテリーパックを上手に使うために ●●●●●●●●●●

必ず指定のバッテリーパック (DZ-BP16、DZ-BP28) をお使いください。指定外のバッテリーパックをお使いになると、ビデオカメラが故障したり、火災が発生するおそれがあります。

お使いになる直前に充電してください

バッテリーパックを充電した状態で保管すると、自然に放電してしまいます。ビデオカメラの使用後は充電しないで、お使いになる前の日などに充電することをお勧めします。充電する前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。

冷暗所で保管してください

気温の高い場所で保管すると、バッテリーパックの寿命が短くなります。特に60℃以上になる環境 (閉め切った車内など) で保管すると、バッテリーパックが故障するおそれがありますので、絶対におやめください。

長期間使用しないときは

1年に1回程度満充電し、ビデオカメラに取り付けた状態で使い切ってから、取り外して涼しい場所に再度保管することをお勧めします。

バッテリーパックの寿命について

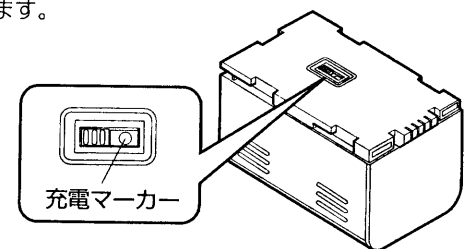
バッテリーパックの寿命は、ご使用の環境や使用頻度によって大きく異なります。満充電したバッテリーパックの使用時間が著しく短くなったら、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックの廃棄方法

寿命が来たバッテリーパックは、分別ごみとして収集してもらうか、回収している店舗で引き取ってもらってください。バッテリーパックは、決して一般ごみと一緒に捨てないでください。また、決して火中には投じないでください。

充電マーカの利用方法

充電済みマーカの (●) が見えるようにしておくと、未充電のバッテリーパックを識別することができます。



⚠ 危険	以下のようなことは危険ですので、絶対に行なわないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーパックの端子間をショートさせる。 ・ バッテリーパックを分解/改造する。 ・ バッテリーパックを火中に投じる。

2 バッテリーパックの準備

2 バッテリーパックの準備

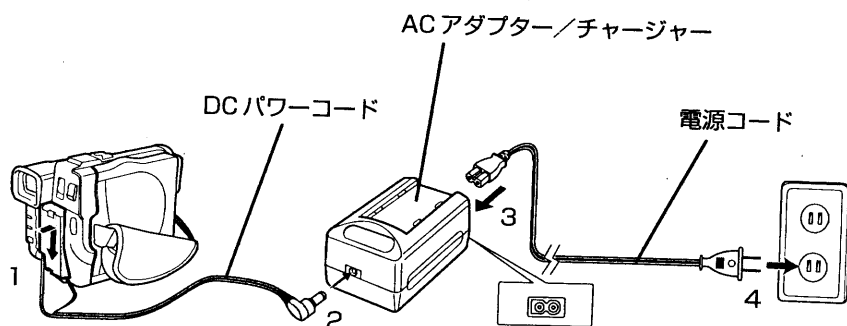
コンセントについて使う

ビデオカメラを設定したり、映像を再生・編集したり、あるいはパソコンにデータを取り込むなど、本機を室内で使用するときは、家庭用のコンセントから電源をとることをお勧めします。

◆注意◆

- ACアダプター/チャージャーは、必ず指定のもの (DZ-ACP1) をお使いください。指定外のACアダプター/チャージャーを使用すると、感電したり火災が起きるおそれがあります。

- 付属のDCパワーコードのカメラ接続側をビデオカメラのバッテリー取り付け部に取り付けます。
バッテリー取り付け部の上端にDCパワーコードの上端を合わせ、ビデオカメラに押し付けながら下方向へ「カチッ」と音がするまでずらしします。
- DCパワーコードのもう一方の端子をACアダプター/チャージャーのDC出力端子 (DC OUT) に差し込みます。
- 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぎます。
- 電源コードをコンセントに接続します。
ACアダプター/チャージャーの「POWER」ランプが点灯します。



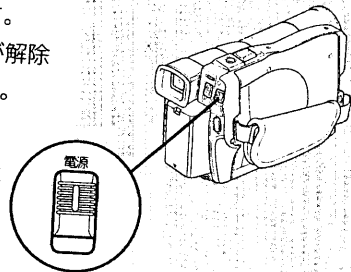
◆注意◆

- プラグをコンセントに差してもACアダプター/チャージャーの「POWER」ランプが点灯しないときは、プラグをいったんコンセントから抜き、しばらく待ってから差し直してください。それでも「POWER」ランプが点灯しない場合は、ACアダプター/チャージャーの故障とされます。プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

DVD-RAMディスクを取り出す

1. 電源を切ってください。

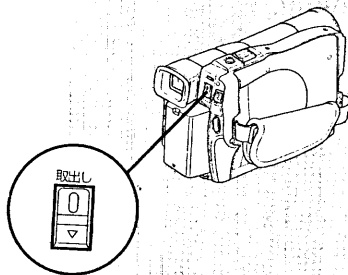
電源スイッチ中央部の赤いランプが消えます。「カチッ」という音がしてディスクのロックが解除され、ディスクを取り出せるようになります。



▶▶ ご注意 ◀◀

- 操作音が2回鳴るまで、バッテリーパックまたはACアダプター/チャージャーを取り外さないでください。
- 電源を切るには、電源スイッチで切ってください。バッテリーパックを取り外して電源を切ると、ディスクが取り出せなくなります。

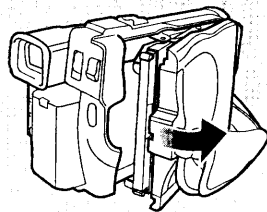
2. 「取出し」ボタンを押し下げると、ディスク挿入部（グリップベルト）のふたが少し開きます。



3. ふたを開くところまで、手でゆっくり開きます。ふたが開くと、ディスクガイドからディスクが少し出て、止まります。

▶▶ ご注意 ◀◀

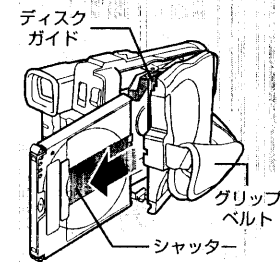
- DVD-RAMディスクを取り出すときは、カメラのバッテリー取り付け部側を下に向けずにください。ディスクを落とすおそれがあります。



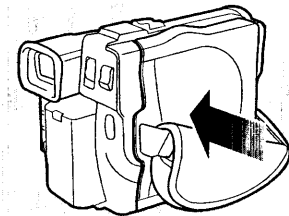
4. DVD-RAMディスクを取り出します。

▶▶ ご注意 ◀◀

- ディスクのシャッター部は非常に高温になります。取り出すときにご注意ください。



5. ディスク挿入部（グリップベルト）のふたの「PUSH」部を「カチッ」と音がするまで、ゆっくり押し閉じます。



ポイント

- 電源が入った状態でも、記録中でなければ、「取出し」ボタンの中央部にあるボタンを2秒以上押しつづけると、「カチッ」という音がしてディスクのロックが解除され、ディスクを取り出せるようになります（このとき、液晶画面またはビューファインダーの「EJECT」表示が白からピンクに変わります）。ただし、誤操作防止のため、ディスクの出し入れ時は電源を切ることをお勧めします。

▶▶ ご注意 ◀◀

- ディスク挿入部には、8cmDVD-RAMディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクが取り出せない場合は、ACアダプター/チャージャーなどから電源をとり、電源スイッチを入/切し、ディスクのロックが解除される音がしてから取り出してください。
- DVD-RAMディスクの回転が完全に止まらなると、「取出し」ボタンを押し下げてもディスクが出てきません。ロックが解除される音がしてから、しばらく待って、もう一度取出しボタンを押し下げてください。
- ディスクがロックされる所まで挿入された状態からディスクをすぐに取り出す場合は、一度ふたを閉じてから、ふたを開けて取り出してください。



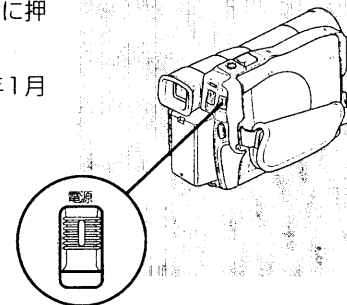
日付と時刻を設定する

撮影日や撮影時刻を正しく記録するために、日付と時刻を正しく設定してください。正しい日付と時刻を設定することにより、より正しい撮影内容を保存できます。(一度設定した日付や時刻を修正する場合も、下記の手順で同様に行なえます)

1. 電源を入れます。

電源スイッチ中央のボタンを押しながら、下に押し下げます。

初めて本機に電源を入れたときは、「2000年1月1日 AM0:00」に設定されています。

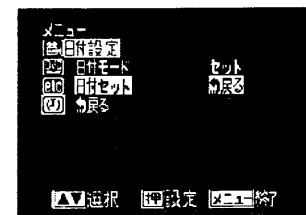


2
日付と時刻を設定する

2. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

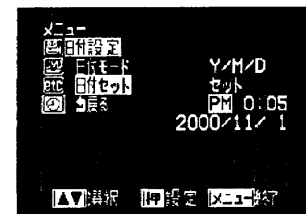
3. 選択ダイヤルで「日付設定」→「日付セット」の順に選択します。

「戻る」が反転表示されています。



4. 選択ダイヤルを回して「セット」を選び、選択ダイヤルを押しします。

日付と時刻が表示され、「AM/PM」が反転表示されて点滅しています。



(最初に点滅するものは、そのときの日付の表示方法によって異なります。時刻の左端にあるものが点滅します)

● DVD-RAM ディスクの記録容量

本機で使用する8cmDVD-RAMディスク1枚に記録できる動画・静止画は、それぞれ以下のとおりです。撮影する時間や条件に合わせて、ディスクをご用意ください。

DVD-RAM ディスク1枚の動画の録画時間

記録モード	録画時間
FINE (MPEG2 約6Mbps)	片面約30分
STND (MPEG2 約3Mbps)	片面約60分

※動画のみを記録した場合(ただし、映像と音声を含む)

● DVD-RAM ディスク1枚の静止画の撮影枚数

片面最大999枚(片面に静止画のみを記録した場合)

ただし999枚記録後でも、ディスク残量が残っていれば、動画では記録できます。記録モードスイッチを動画に切り換えて撮影してください。

サムネイルの最大数は999シーンです。

999シーンを超えても撮影はできますが、新たにサムネイルは作成されません。「シーン」についてはP.95を参照してください)

24

ビデオカメラの準備



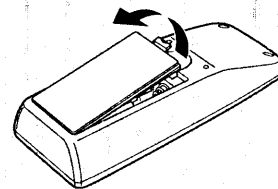
リモコンの準備

リモコンは、付属の単3乾電池2個を入れて使します。本機を離れたところから操作できます。

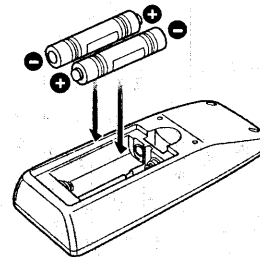
▶▶ ご注意 ◀◀

- 乾電池が消耗すると、リモコンのボタンを押してもビデオカメラが動作しなくなります。その場合は、新しい乾電池にお取り換えください。

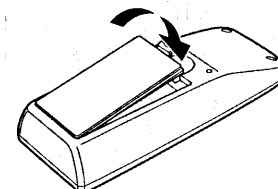
1. リモコン背面のつまみを押しながら、ふたを開けます。



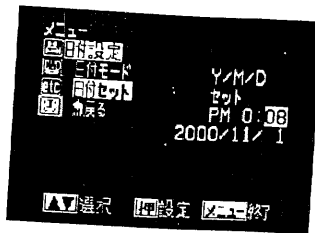
2. 乾電池2本を入れます。
「+」「-」の表示どおりに入れてください。



3. ふたを閉めます。

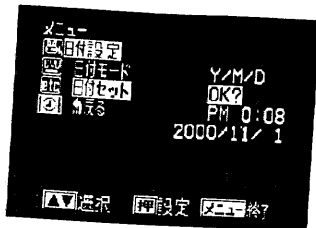


5. そのままでよい場合は、選択ダイヤルを押します。変更する場合は、選択ダイヤルを回して変更してから、選択ダイヤルを押します。「時」の数字に点滅が移ります。



(点滅の移動は、そのときの日付の表示方法によって異なります。時刻の左端にあるものから順番に点滅します)

6. 同様の手順で、「分」・「年」・「月」・「日」を合わせます。最後の数値を設定して選択ダイヤルを押すと、「OK?」が点滅します。



ヒント

- 途中で間違えたときは、「OK?」が点滅しているときに選択ダイヤルで「セット」に変更し、選択ダイヤルを押すと、はじめからやり直すことができます。

7. 選択ダイヤルを押して決定した後に、「メニュー」ボタンを押します。メニュー画面が消えます。

● 時報に合わせてセットするには

「分」の数値を現在より少し先に合わせて「OK?」が点滅する状態にしておき、テレビや電話で時報を確認しながら、合わせた時刻になる瞬間に選択ダイヤルを押して設定します。

▶▶ ご注意 ◀◀

- 日付と時刻の表示方法を変更することもできます (P.130)。

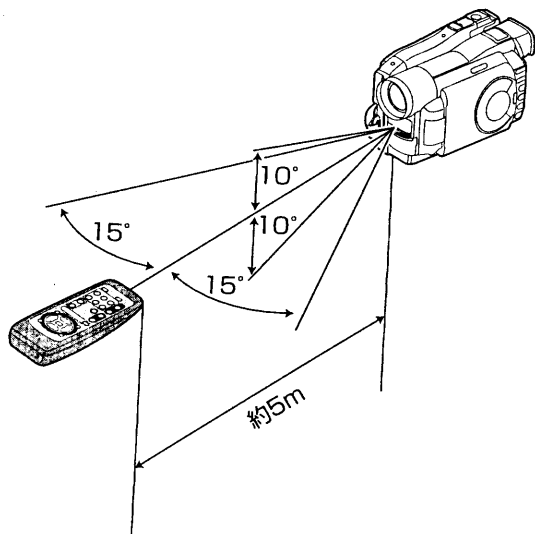
内蔵電池の充電について

本機は日付と時刻を記憶しておくための電池を内蔵しています。2ヶ月に1回、ACアダプター/チャージャーを接続して、電源を切ったまま約24時間放置してください。内蔵電池が充電されます。



リモコンの使いかた

リモコンはビデオカメラの赤外線受光部に向けて操作してください。リモコンの操作可能距離は、約5mです。



2 リモコンの使いかた

▶▶ ご注意 ◀◀

- ・ リモコンで操作するときは、ビデオカメラの赤外線受光部が直射日光や強い照明などに向かないようにご注意ください。赤外線受光部にリモコンの赤外線よりも強い光が当たっていると操作できません。
- ・ リモコンとビデオカメラの赤外線受光部との間に障害物があると、うまく動作しない場合があります。
- ・ リモコンコードは日立製ビデオのリモコンコード「VTR2」です。日立のビデオなどをリモコンコード「VTR2」でお使いのときは、ビデオもリモコンで動作してしまいますので、ビデオのリモコンコードを別のコードに変更してください。

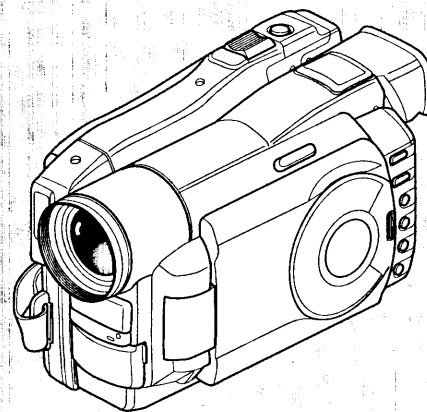


撮る

撮影には、動画と静止画の2つのモードがあります。ここでは、それぞれの撮影のしかた、機能の説明をします。

ビデオカメラの基本的な扱いかた	56
動画（ビデオ）を撮る	64
動画のいろいろな撮影方法	69
静止画を撮る	80

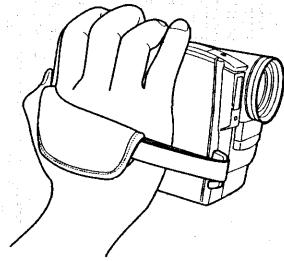
3



ビデオカメラの基本的な扱い方

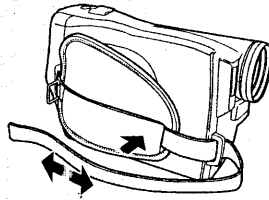
持ち方

1. ビデオカメラの下側から、グリップベルトに右手を差し入れます。「録画」ボタン、ズームレバーが押しやすい位置にしてください。



●グリップベルトを調節する

親指で「録画」ボタンを押したときにカメラがぐらつかないように、グリップベルトの長さを調節します。



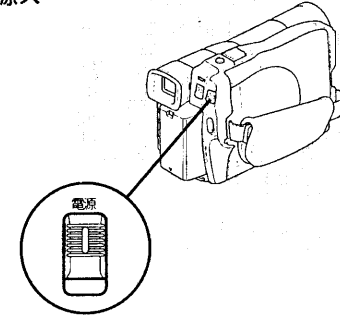
▶▶ ご注意 ◀◀

- ・ ビデオカメラを持ったままグリップベルトを調節しないでください。カメラが落ちて破損するおそれがあります。
- ・ ビューファインダーや液晶画面をつかんで持ち上げないでください。ビューファインダーや液晶画面が外れて、本機が落下することがあります。



電源を入れる

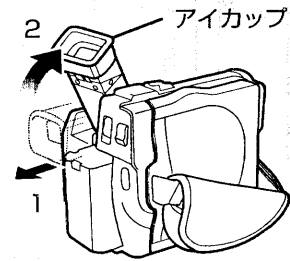
1. 電源スイッチ中央のボタンを押しながら、電源スイッチを1回押し下げます。ボタン中央部の赤いランプが点灯します。



ビデオカメラがディスクの認識を開始し、約25秒後に記録一時停止状態になります。

ビューファインダーをのぞいてみましょう

1. ビューファインダーをいっばいに引き伸ばします。
2. 適切な角度に調整して、目をアイカップに当ててください。

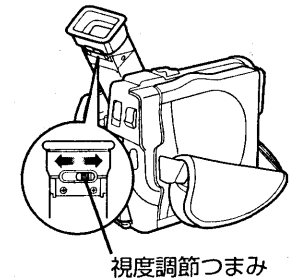


▶▶ ご注意 ◀◀

- ・ 液晶画面が開いているときは、ビューファインダーには何も表示されません。
- ・ ビューファインダーを引き伸ばさないと、ビューファインダーに写る映像のピントが合いません。

●映像がぼやけているときは

アイカップの下にある視度調節つまみを動かして、くっきり見える状態に調整してください。



3 ビデオカメラの基本的な扱い方

3 ビデオカメラの基本的な扱い方

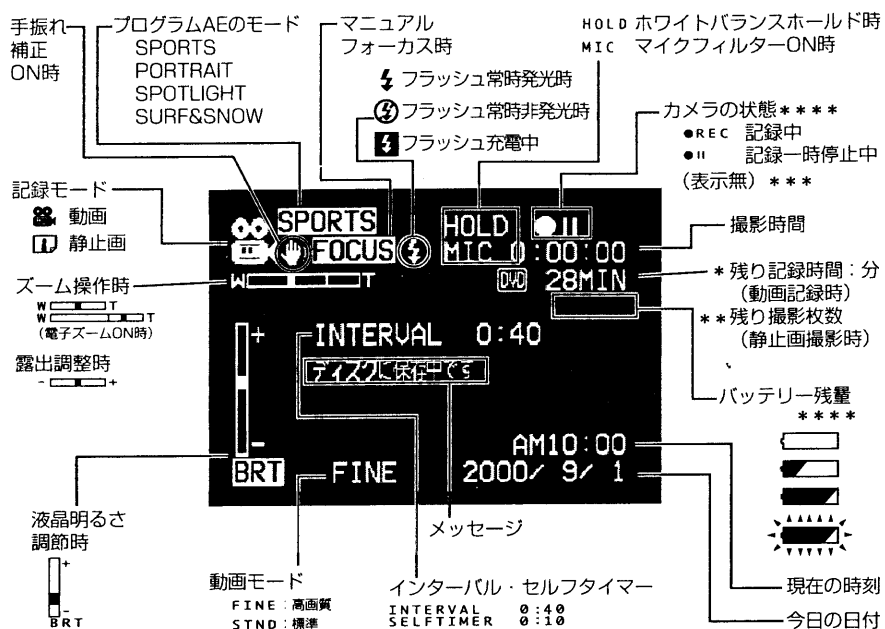
撮影時の情報

ビューファインダーや液晶画面に、撮影に関するいろいろな情報が表示されます。

この情報は、撮影時の条件などを確認するためのもので、映像として記録されることはありません。



撮影時の表示について



- * ライトプロテクトされたディスクでは、残量が表示されません。また、ディスクが入っていない場合は、(DVD) マークと残量が表示されません。
- ** 表示される枚数は目安です。撮影条件によっては、減る枚数が合わないことがあります。
- *** ディスクを入っていない状態、初期化されていないディスク、ライトプロテクトされたディスク、残量なしのディスクが入っている状態のみ
- **** カメラの状態表示およびバッテリー残量表示は、AV入出力端子からの画像では、色がつきません。

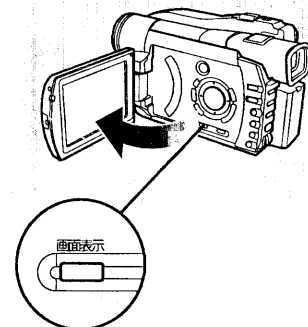
画面表示モードを切り換える

画面に表示される情報の表示モードを2段階に切り換えることができます。

- ・ フル表示モード：すべての情報が表示されます。
- ・ 最小表示モード：記録モード・カメラの状態表示・警告だけが表示されます。

1. 「画面表示」ボタンを押します。

フル表示モードと最小表示モードが交互に入れ替わります。

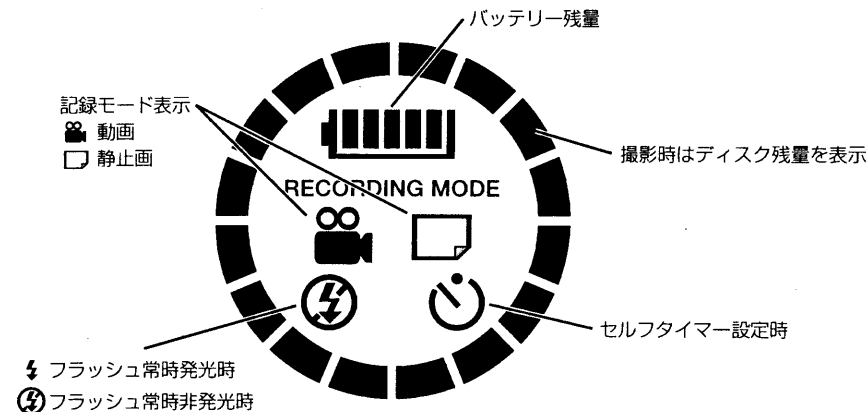


ヒント

本機では、撮影日時は映像の一部としては記録されません。ただし、撮影時の情報は、データとして映像とともに記録されており、再生時に確認できます (P.94 「再生時の情報」)。

情報液晶画面の表示について

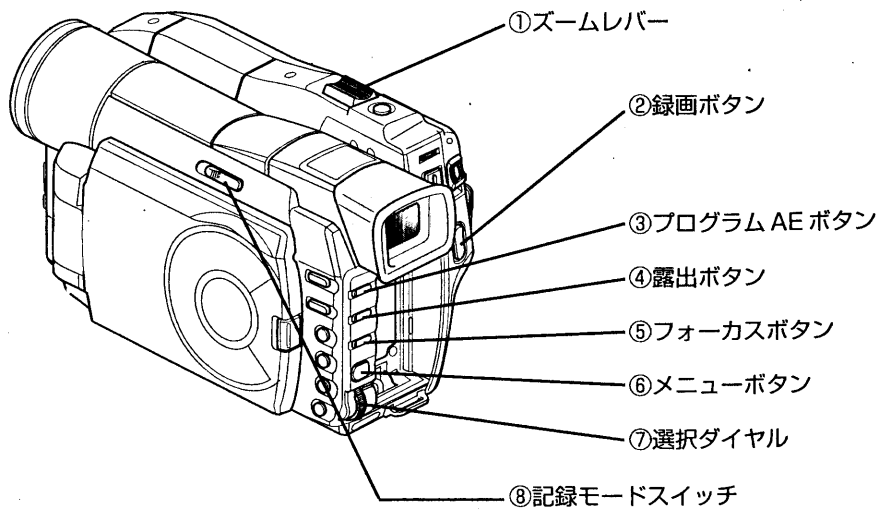
液晶画面を閉じていても、基本的な情報は情報液晶画面に表示されているので、いつでも確認できます。



ビデオカメラの基本的な扱い方

ビデオカメラの基本的な扱い方

撮影時に使用するボタン・スイッチ ●●●●●●●●●●



- ①ズームレバー
T側に押すと望遠に、W側に押すと広角になります。
- ②録画ボタン
動画の撮影を開始します。もう一度押すと、撮影が終了します。
(記録モードが静止画のときは、動作しません。)
- ③プログラムAEボタン
撮影モードをフルオートモード(無表示)とプログラムAEモードに切り換えます。
選択ダイヤルを上方向に回すと、「SPORTS」→「PORTRAIT」→「SPOTLIGHT」→「SURF&SNOW」の順に切り換わります。
- ④露出ボタン
露出を調整するときに押します。押したあと、選択ダイヤルを使って調整します。

- ⑤フォーカスボタン
マニュアルフォーカスに切り換えます。押したあと、選択ダイヤルを使ってピントを調整します。もう一度押すと、オートフォーカスに戻ります。
- ⑥メニューボタン
カメラの機能などを設定するためのメニューを表示します。もう一度押すと、メニュー表示が消えます。
ディスクが入っていない場合でも、メニューが表示されます。
- ⑦選択ダイヤル
プログラムAE・露出・ピント・液晶画面の明るさなどを調整します。メニューの設定にも使用できます。
- ⑧記録モードスイッチ
記録モードを動画または静止画に切り換えます。
録画中には切り換えられません。

動画撮影のピント合わせについて ●●●●●●●●●●

本機では、画面中央の被写体にピントが合うようになっています(オートフォーカス)。電源を入れたときは、必ず設定が「オートフォーカス」になっています。

- ピントの合う範囲
 - ・T側(望遠側)では、レンズ面より約1mから無限遠
 - ・W側(広角側)では、レンズ面より約1cmから無限遠
- ・オプションのテレコンバージョンレンズ(DZ-TL1)とワイドコンバージョンレンズ(DZ-WL1)をお使いになる場合は、本機のレンズフードを外してから取り付けてください。
- ・オプションのテレコンバージョンレンズ(DZ-TL1)を装着した場合は、T端(望遠側)のピントの合う範囲が約5mから無限遠になります。
- ・オプションのテレコンバージョンレンズ(DZ-TL1)を装着した場合は、ズームしたときにW側(広角側)で画面の四隅が暗くなります(ケラレ)。

次のようなときは、ピントが合わないことがありますので、手動でピントをあわせてください(☞P.72)。




- ①中央に被写体がないとき
- ②遠くと近くに共存する被写体
- ③ネオンサインやスポットライトなど、輝いたり、強い光が反射するもの
- ④水滴や汚れの付いたガラス越しの被写体
- ⑤動きの速い被写体
- ⑥白い壁など明暗差がほとんどない被写体
- ⑦暗い被写体



3...ビデオカメラの基本的な扱い方

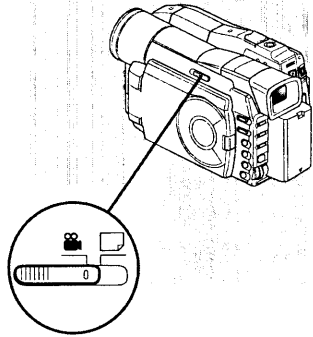
3...ビデオカメラの基本的な扱い方



動画（ビデオ）を撮る

1. 記録モードが動画モード（）になっていることを確認します。

 になっていないときは、記録モードスイッチを  側に合わせてください。

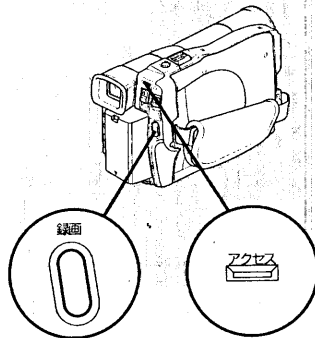


2. ビューファインダーまたは液晶画面で映像を確認し、「録画」ボタンを押します。

録画中にもう一度「録画」ボタンを押すと、記録一時停止状態になります。

▶▶ ご注意 ◀◀

- ・ ディスクアクセスランプが点滅しているときは、電源を切らないでください。
- ・ 動画の最短記録時間は、約3秒です。



RECORD

いろいろな撮影方法については、P.69「動画のいろいろな撮影方法」を参照してください。

3. 撮影が終了したら、電源を切ります。

▶▶ ご注意 ◀◀

- ・ 万一何らかの不具合により録画・録音・編集されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

●パワーセーブとバッテリーの消耗


記録一時停止状態のまま約5分経過すると、自動的に電源が切れます。撮影を再開するときは、もう一度電源を入れてください。

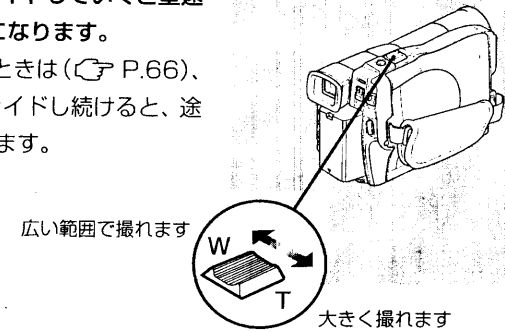
パワーセーブを解除したり、電源が自動的に切れるまでの時間を約30分に変更することもできます。設定方法は、P.129「パワーセーブを解除する／時間を変更する」をお読みください。

記録一時停止状態のときも、撮影時と同じくらいバッテリーは消耗します。特にパワーセーブを解除した場合は、撮影時以外はなるべく電源を切るようにしてください。

ズームの操作

本機では、光学12倍ズーム×デジタル4倍ズームを使った撮影ができます。

1. ズームレバーを「T」側にスライドしていくと望遠に、「W」側にすると、広角になります。電子ズームの設定が「ON」のときは（ P.66）、ズームレバーを「T」側にスライドし続けると、途中からデジタルズームになります。



RECORD

- ・ ズームを行なったときに、一瞬ピントがずれることがあります。
- ・ デジタルズームが加わると、画質が多少粗くなります。
- ・ 短時間に頻繁に倍率を変えると、映像が見づらくなります。 **ズームアップ**



カメラ機能のメニューに戻り、「電子ズーム」が「OFF」に変わっています。

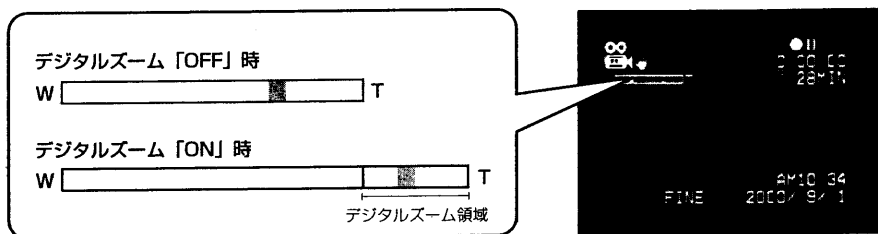


5. 「メニュー」ボタンを押します。

メニュー画面が消えます。

動画を撮る

- ・ 続けて別の項目を設定するときは、手順5で「メニュー」ボタンを押さずに、他のメニューを選んでください。
- ・ デジタルズームがONかOFFかは、画面情報で確認できます。
- ・ ズームインジケータの境界線の位置が、光学12倍ズームとデジタル4倍ズームの目安です。



デジタルズームのON / OFFは、電源を切っても記憶されています。

動画のいろいろな撮影方法

状況にあった撮影モードを選ぶ (プログラムAEのモード切り換え)

本機では、被写体と周囲の状況が自動で判別されて最適な映像が撮影されますが、特殊な状況では、その状況に応じた撮影モードを選択して撮影すると、よりきれいに撮影できます。

スポーツモード (SPORTS)

ゴルフやテニスなど激しい動きを撮影するときに、被写体のブレを少なくします。

ポートレートモード (PORTRAIT)

人物や生物などを撮影するときに、背景をぼかして、被写体を浮かび上がらせます。

スポットライトモード (SPOTLIGHT)

結婚式や舞台など被写体に強い光が当たっているときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

サーフ&スノーモード (SURF&SNOW)

真夏の海辺やスキー場など照り返しが強い場所で、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

フルオートモード (画面には何も表示されません)

被写体と周囲の状況が自動で判断され、最適な映像が撮影されます。

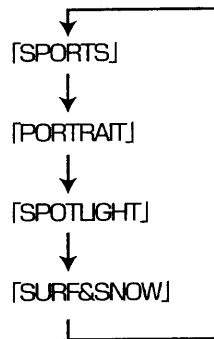
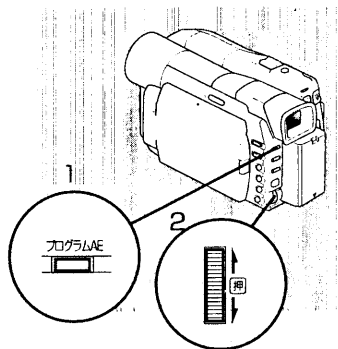
●撮影モードを切り換える

1. 記録一時停止中に「プログラムAE」ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、プログラムAEのモード(4種類)とフルオートモードに切り換わりま

2. 選択ダイヤルを回して、プログラムAEのモードを選びます。

ダイヤルを上方向に回すと、以下のように切り換わります。



3. 選択ダイヤルを押します。

選ばれたモードが設定されます。

設定した状態からフルオートモードに戻すには、「プログラムAE」ボタンを2回押ししてください。

設定した撮影モードは、電源を切っても記憶されています。

●ポイント

- ・ プログラムAEのモードを設定していないときに撮影モードをプログラムAEモードからフルオートモードに戻すには、もう一度「プログラムAE」ボタンを押してください。

●手振れ補正を切り換える

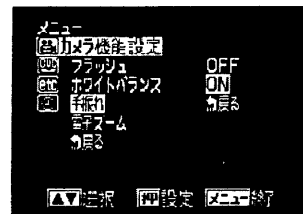
本機は手振れ補正機能を備えています。ズームで被写体を大きくして撮る場合でも、撮影した映像があまり振れないように自動で補正されます。

●ポイント

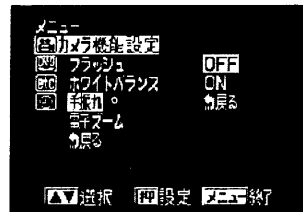
- ・ 台の上に置いたり三脚を使用するときは、手振れ補正を解除することをお勧めします。
- ・ 手振れ補正がかかっていると、実際の動きと画面の動きには若干の差が生じます。
- ・ 手振れ補正がかかっている場合でも、手振れが大きすぎると補正されないことがあります。
- ・ コンバージョンレンズをお使いのときは、手振れ補正が正しく動作しないことがあります。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「カメラ機能設定」→「手振れ」の順に選択します。
選択肢が表示され、「ON」が反転表示されています。



3. 選択ダイヤルを回して「OFF」に変更し、選択ダイヤルを押します。



カメラ機能のメニューに戻り、「手振れ」が「OFF」に変わっています。



4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

3 動画のいろいろな撮影方法

3 動画のいろいろな撮影方法

2. レンズを被写体に近づけて、撮影を開始します。

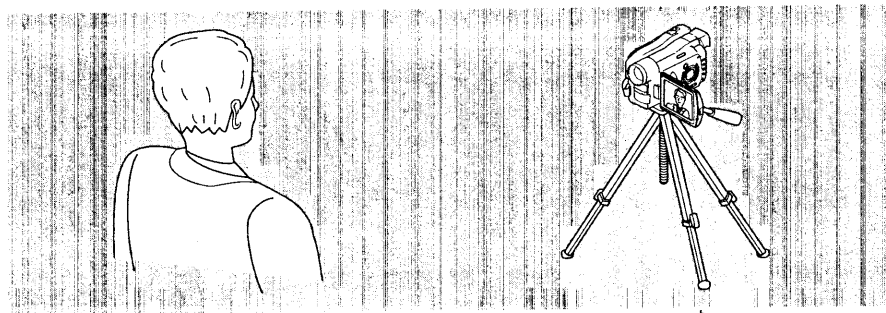
ピントは自動で合います。被写体の大きさを変えるときは、被写体との距離を調整してください。

ズーム

- ・ズームは使用できますが、被写体までの距離により、ピントが合わなくなることがあります。
- ・接写をするときは光量不足になりがちです。画面が暗いときは、被写体に照明を当ててください。

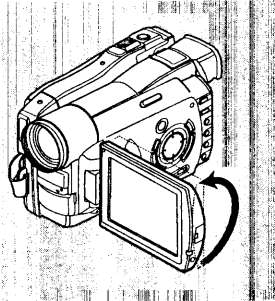
自分を撮る

ビデオカメラを自分に向けて、液晶画面で確認しながら撮影できます。リモコンで操作することもできます。



1. 液晶画面を約90°に開き、レンズ側に向くように回転させます。

2. ビデオカメラまたはリモコンの「録画」ボタンを押して撮影を開始します。



▶▶ ご注意 ◀◀

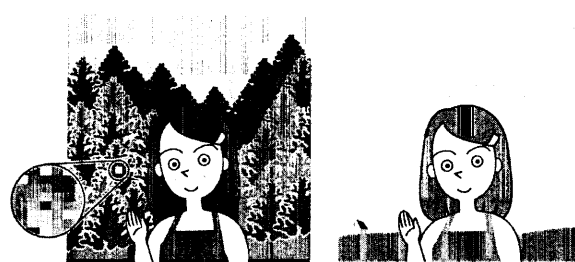
- ・液晶画面を180°回転させた状態で本体に密着させて、長時間撮影することはおやめください。本体と液晶画面が熱くなります。
- ・液晶画面を180°回転させた状態ではビューファインダーに映像は出ません。

動画の記録モードを切り換える

本機では、動画の記録モードを「FINE」または「STND」に切り換えることができます。ただし、大切な映像は「FINE」で記録してください。

また、下記のような撮影条件のときには、記録した映像にブロック状のノイズや被写体の輪郭にゆがみが出ますのでカメラはできるだけゆっくりと動かすようにしてください(特に「STND」では出やすくなります)。

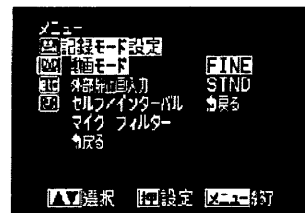
- ・背景に複雑な絵柄(樹木やフェンスなど)がある場合(下図左)
- ・本機を大きくまたは速くパンニングやチルティングを行なう場合
- ・本機を動かさなくても被写体が著しく動いている場合



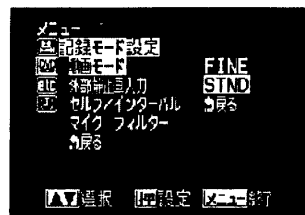
(ブロック状のノイズが発生した場合) (ブロック状のノイズがない場合)

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「記録モード設定」→「動画モード」の順に選択します。選択肢が表示され、「FINE」が反転表示されています。



3. 選択ダイヤルを回して「STND」に変更し、選択ダイヤルを押します。記録モードのメニューに戻り、「動画モード」が「STND」に変わります。



4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

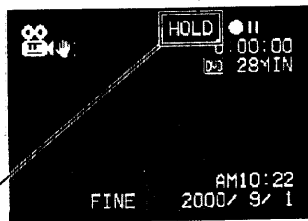
3 動画のいろいろな撮影方法

3 動画のいろいろな撮影方法

4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

●ホワイトバランスのモードを確認する

ホワイトバランスのモードは、画面の情報で確認できます。ただし「AUTO」のときは、何も表示されません。



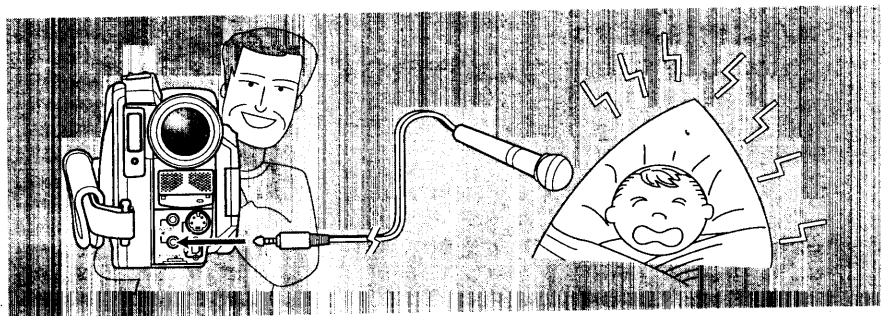
ホワイトバランスのモード

ホワイトバランスの設定は、電源を切ると「AUTO」に戻ります。

音をマイクで録る

市販の高性能マイクを接続して撮影すると、よりクリアな音声を記録できます。市販のマイクを、本機の外部マイク接続端子に接続します。マイクのスイッチを入れてから撮影を開始してください。

マイクの仕様については「主な仕様」(P.164)を参照してください。



注意

画面に「MIC」と表示されても、外部マイク端子に対しては、マイクフィルターは動きません。

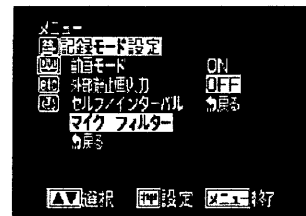
マイクからの風の音を低減させる

本機の内蔵マイクで録音するとき、フィルターをかけてマイクからの風の音を低減させることができます。撮影時にマイクに入る音のうち、低域の部分がカットされるため、対象の音が聞き取りやすくなります。

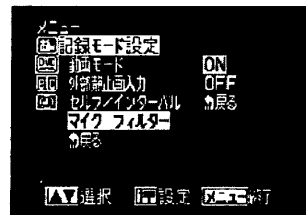
1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 「記録モード設定」→「マイクフィルター」の順に選択します。

選択肢が表示され、「OFF」が反転表示されています。



3. 選択ダイヤルを回して「ON」に変更し、選択ダイヤルを押します。



記録モードのメニューに戻り、「マイクフィルター」が「ON」に変わっています



4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

●マイクフィルターの設定を確認する

マイクフィルターが「ON」になったことは、画面情報で確認できます。「ON」のときは「MIC」と表示され、「OFF」のときは何も表示されません。

マイクフィルターの設定は、一度変更すると、再度変更するまで電源を切っても記憶されています。


マイクフィルターの表示

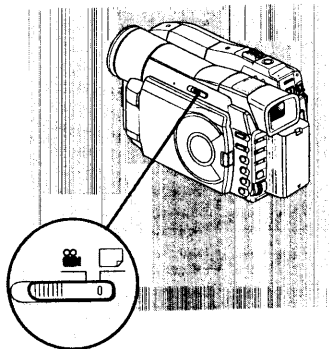



3 動画のいろいろな撮影方法

3 動画のいろいろな撮影方法

静止画を撮る

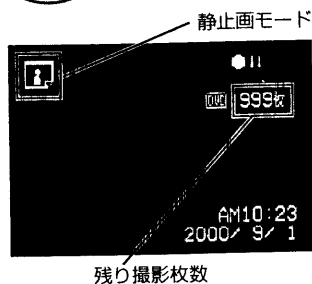
1. ビデオカメラの電源を入れ、記録モードスイッチを静止画モード () に合わせます。




2. 静止画モード () になったことを、画面で確認します。


静止画モード

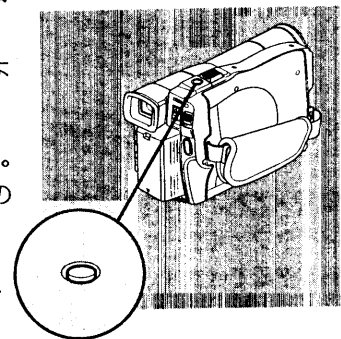
静止画に切り換えると、ビューファインダーや液晶画面で見る画像は動画より粗くなりますが、記録される画像には影響しません。



残り撮影枚数



3. 被写体を画面 (ビューファインダーまたは液晶画面) で確認し、必要に応じて「ズーム」レバーを動かして被写体の大きさを調整します。ズームの動作は、動画撮影時と同じです。P.65「ズームの操作」をお読みください。デジタルズームをオフにすることもできます ( P.66)。

4. 「フォト」ボタン (シャッター) を半分まで押し (半押し)。操作音が2回鳴ります。ピントは、画面中央にある被写体に自動で合うようになっています (オートフォーカス選択時)。
5. 「フォト」ボタンをすべて押し込みます (全押し)。画面がいったん暗くなり () が点滅)、その後撮影された画面が表示されます。
6. 「ディスクに保存中です」という表示が消えたら、記録終了です。



1枚撮影したあと、データが記録される間、次の撮影ができるようになるまでに約10秒が必要です。

7. 撮影が終了したら、電源を切ります。

記録一時停止のまま約5分経過すると自動的に電源が切れます ( P.65「パワーセーブとバッテリーの消耗」)。パワーセーブを解除したり、自動に電源が切れるまでの時間を変更することもできます ( P.129)。

静止画のいろいろな撮影方法

●被写体を中央に配置しないで撮る


1. 被写体を中央に配置した状態でシャッターボタンを半分まで押し (半押し)。



2. そのままの状態 (構図) で撮影したい構図になるまでビデオカメラを動かします。



3. 「フォト」ボタンを押し込みます (全押し)。

ピントを手動で合わせることもできます ( P.88)。

画質について

本機で撮影できるJPEG静止画の画質は、1280×960ピクセルのみです。画質を切り換えることはできません。

撮影モード（プログラムAE）について

静止画でも、5種類の撮影モードから選択して撮影できます。シャッタースピードと絞りが自動的に調整されます。撮影モードの選びかたについては、P.69「状況に合った撮影モードを選ぶ」をお読みください。



- ・逆光のときは、フラッシュを使用して撮影すると、よりきれいに撮れます。

シャッタースピードについて

シャッタースピードは、被写体の明るさに応じて1/800～1/30秒の間で自動的に設定されます。薄暗いときは、自動的にシャッタースピードが遅くなるので、手振れにご注意ください。

また、静止画の撮影時には、「手振れ補正」は機能しません。

フラッシュについて

薄暗いところや逆光時撮影するときは、自動的にフラッシュが発光したり、明るさにかかわらず、無条件にフラッシュが発光するようになり、暗いところでもフラッシュを使わずに撮影することもできます。暗いところで撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、手振れにご注意ください。

フラッシュの充電時間は、記録モードスイッチを動画から静止画へ切り換えてから約6秒です。

設定	OSD表示	発光方法
AUTO	「フォト」ボタンを押すと	薄暗いところや逆光時に自動的に発光
ON		明るさにかかわらず、常時発光
OFF		常時非発光



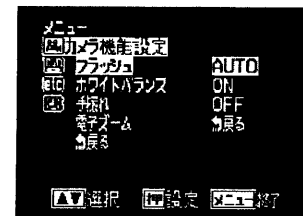
- ・フラッシュを使用しても薄暗いところでは、ピントが合わないことがあります。薄暗いところでの撮影には、ライトで被写体に光を当てることをお勧めします。

フラッシュを設定する

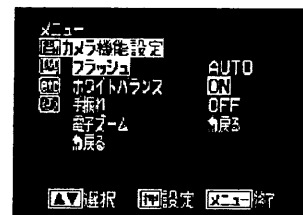
1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

2. 選択ダイヤルで「カメラ機能設定」→「フラッシュ」の順に選択します。

選択肢が表示され、「AUTO」が反転表示されています。



3. 選択ダイヤルを回して「ON」（常時発光）または「OFF」（常時非発光）に変更し、選択ダイヤルを押します。

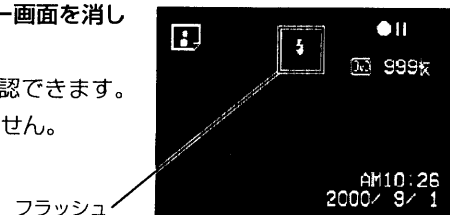


カメラ機能のメニューに戻り、「フラッシュ」が「ON」または「OFF」に変わっています。



4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

フラッシュの状況は、画面情報で確認できます。「AUTO」のときは、何も表示されません。

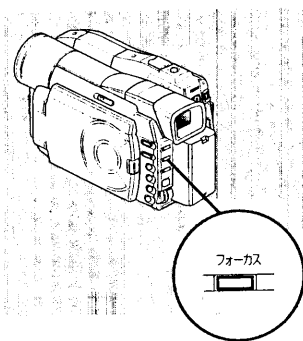


- ・フラッシュが「AUTO」で自動発光する明るさのときには、シャッターボタンを半押し、または押したときに、フラッシュマーク（）が画面に表示されます。

ピントを手動で合わせる (マニュアルフォーカス) ●●●●●

ピントは、画像中央にある被写体に自動にあうようになっていますが、特殊な効果をねらって手動でピントをあわせることもできます。静止画のマニュアルフォーカスの手順は、動画の場合と少し異なります。

1. 記録一時停止状態のときに、「フォーカス」ボタンを押します。



画面に「FOCUS」と表示されます。



- ・「フォーカス」ボタンを押すたびに、「マニュアルフォーカス」と「オートフォーカス」が切り換わります。「オートフォーカス」のときは、画面には何も表示されません。

2. 画面で映像を確認しながら選択ダイヤルを回してピントを調整します。

3. ピントが合ったら、撮影してください。

マニュアルフォーカスの場合は、「フォト」ボタン (シャッター) を半押しにする必要はありません。

マニュアルフォーカスは電源を切ると解除されます。

撮った映像を 見る・削除する・編集する

本機で撮影した映像は、すぐにその場で再生して確認できます。

また、内蔵のディスクナビゲーションというツールを使うと、撮影した映像や画像にタイトル/メモ/映像効果などをつける、シーンの順序を入れ換える、複数の映像を編集して連続再生するなど、本機だけでちょっとしたムービー作品を作成することもできます。

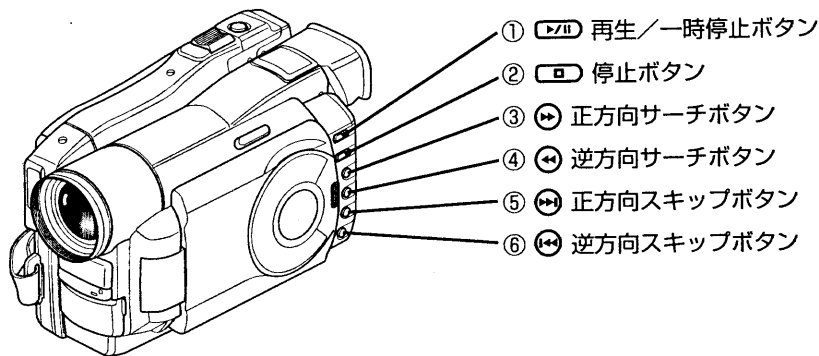
再生する	90
ディスクナビゲーションの使いかた	95
ディスクナビゲーションを起動する	98
ディスクナビゲーションの操作に使用するボタン	99
シーンを選ぶ	102
ディスクナビゲーションで再生する	104
メニューを使って削除する	106
シーンを飛ばして再生する (スキップ設定)	107
メモを付ける	109
特殊効果を付ける	112
動画を分割する	114
新しいプレイリストを作る	117
メッセージが表示されたとき	124



再生する

再生時に使用するボタン

従来のビデオカメラの再生・早戻し・早送り・一時停止など同様の操作を行なえます。



- ① 再生/一時停止ボタン
- ② 停止ボタン
- ③ 正方向サーチボタン
- ④ 逆方向サーチボタン
- ⑤ 正方向スキップボタン
- ⑥ 逆方向スキップボタン

①再生/一時停止ボタン

記録を行ったあとの記録一時停止状態のときに押すと、最後に撮ったシーンが最初の場面から再生されます。再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと再生が再開します。

②停止ボタン

記録一時停止状態またはディスクナビゲーションの画面に戻ります。

③正方向サーチボタン

再生中に押すと早送りになります。一時停止中に押すと、コマ送りとなります。1秒以上押すと正方向スロー再生されます。

④逆方向サーチボタン

再生中に押すと早戻しになります。一時停止中に押すと、コマ戻しとなります。1秒以上押すと逆方向スロー再生で再生されます。

⑤正方向スキップボタン

次のシーンの頭出しをします。「範囲選択」ボタンを押したあとに押すと、最後のシーンの最後の場面が表示されます。

⑥逆方向スキップボタン

ひとつ前のシーンの頭出しをします。「範囲選択」ボタンを押したあとに押すと、最初のシーンの頭出しをします。

4 再生する

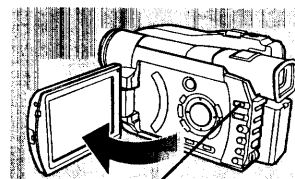
撮ったあとにその場で確認する

撮った映像をその場で確認できます。

1. 記録一時停止状態で、再生ボタンを押します。

ビデオカメラが再生モードになり、最後に撮った映像の最初の場面から再生されます。

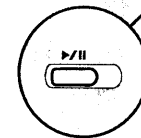
映像の最後の場面にくると、その場面を表示したままになります。



2. 停止ボタンを押します。

再生が停止し、記録一時停止状態に戻ります。

再生を一時停止するには、再生ボタンを押します。



▶▶ ご注意 ◀◀

- ・映像を撮ったあと、逆方向サーチボタンを押すと、最後に撮った映像の最後の約5秒間を確認できます。再生が終わると、自動的に記録一時停止状態に戻ります。
- ・ディスクナビゲーションで設定したフェード・ワイプ・モノトーン・スキップ設定は、ディスクナビゲーションから再生したときだけ働きます。
- ・動画のシーンをつなぎ撮りした場合は、約0.1秒程度音声途切れることがあります。また、動画の一部を削除して映像をつないだ場合にも、約0.5秒程度音声途切れることがあります。
- ・他のレコーダーで記録したディスクを本機で再生する場合は、ディスクナビゲーションを使ってから再生してください(参照 P.95)。




- ・再生中の音量は、選択ダイヤルを回して調整してください。リモコンの「音量」ボタンでも調整できます。
- ・再生を一時停止するときは、再生ボタンを押します。もう一度再生ボタンを押すと、再開します。
- ・再生を止めるときは、停止ボタンを押します。もう一度再生ボタンを押すと、再生を止めた位置から再生されます。電源を切っても、停止ボタンを押した位置は保存されます。
- ・再生を途中で止めても、次の映像を撮る前に最後の映像の最後の所を頭出しする必要はありません。いつ撮影を開始してもすでに記録されている映像のあとに記録されるので、重ね撮りしてしまう心配はありません。


4 再生する


見たい映像を探す

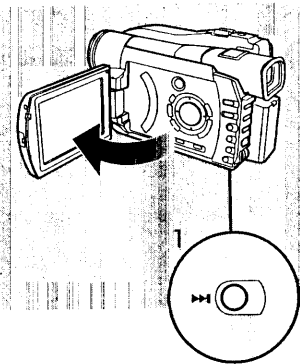
1. 再生中に  を1回押します。







次のシーンに飛んで再生が開始されます。

再生中に  を1回押すと、再生中のシーンの最初の場面に戻ります。

シーンの先頭から約2秒以内のところを再生中に  を1回押すと、ひとつ前のシーン(「シーン」についてはP.95を参照してください)に戻って再生が開始されます。

シーンの先頭から約1秒以内のところまで再生一時停止中に  を1回押すと、ひとつ前のシーンの最初の場面で、再生一時停止します。





- 再生中に  を1秒以上押し続けると、次のシーンから連続頭出しが始まります。見たい映像が見つかりボタンから手を離すと、再生を開始します。
- 再生中に  を1秒以上押し続けると、ひとつ前のシーンからさかのぼって連続頭出しが始まります。見たい映像が見つかりボタンから手を離すと、再生を開始します。
- 再生一時停止中に  を1秒以上押し続けると、次のシーンから連続頭出しが始まります。見たい映像が見つかりボタンから手を離すと、再生一時停止状態になります。
- 再生一時停止中に  を1秒以上押し続けると、ひとつ前のシーンからさかのぼって連続頭出しが始まります。見たい映像が見つかりボタンから手を離すと、再生一時停止状態になります。
- 再生中もしくは再生一時停止中に「範囲選択」ボタンを押したあとで、 を押すと、ディスクに記録されている一番最後のシーンの最後の場面まで、一度が進みます。
- 再生中もしくは再生一時停止中に「範囲選択」ボタンを押したあとで、 を押すと、ディスクに記録されている一番最初のシーンの最初の場面まで、一度に戻ります。

●サーチ、スロー再生のスピード

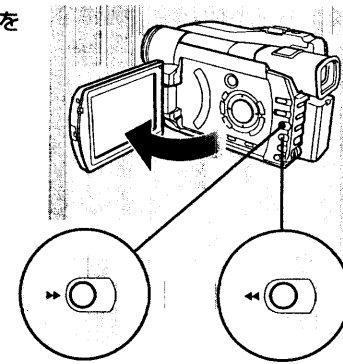
操作モード	速度	
	動画	静止画
正方向サーチ	約6倍	約3倍
逆方向サーチ	約6倍	約3倍
正方向スロー	約1/2倍	約1/2倍
逆方向スロー	約3/4倍	約1/2倍

- 本機で記録した映像に限ります。
- この表の速度はめやすです。操作中に遅くなることがあります。
- 正方向スローでは、動きの激しい被写体で画像がブレることがあります。
- 逆方向スローでは、コマが粗くなります。
- 特殊再生中に音声は出ません。

見たい場面を探す

1. シーンを再生中に  ボタンまたは  ボタンを押しつづけます。

映像が早送り・早戻しされます。




2. ボタンから手を離すと、そこから通常で再生されます。


▶▶ ご注意 ◀◀

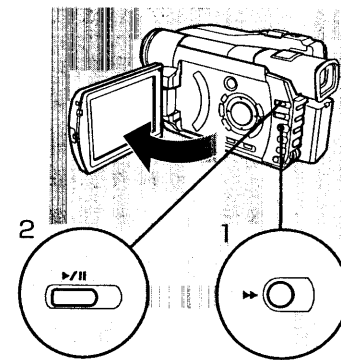
- スキップボタン、サーチボタンを押したり、離したりすると約1秒間画面が暗くなります。

コマ送り/コマ戻しする/スロー再生




1. 再生一時停止中に  を1回押します。

映像がひとコマ先へ進みます。

 を1回押すと、映像がひとコマ戻ります。

2. 見たい場面が表示されたら、 を押して再生を開始してください。

▶▶ ご注意 ◀◀

-  を押し続けると正方向スロー再生に、 を押し続けると逆方向スロー再生になります。
- 見たい場面でボタンから手を離し、 を押すと、そこから通常で再生されます。



ディスクナビゲーションの使いかた

ディスクナビゲーションは、本機で撮影したシーンを再生・編集するためのツールです。

本機で記録されるデータの構造

DVD-RAM ディスクには、本機で撮影した動画と静止画が、いずれも「シーン」という単位で、撮影した順番に記録されます。

- ・ 動画： 「録画」ボタンを押して撮影を開始してから、もう一度「録画」ボタンを押して撮影を一時停止するまでの映像（約3秒以上）が1シーンになります。
- ・ 静止画： 「フォト」ボタンを押して撮影した1枚の画像（インターバル撮影の場合は1回シャッターがおりて撮影された画像）が1シーンになります。

また、記録されているシーンは、撮影日ごとに「プログラム」としてまとまっています。プログラムを選択することで、特定の日のシーンだけを表示できます。

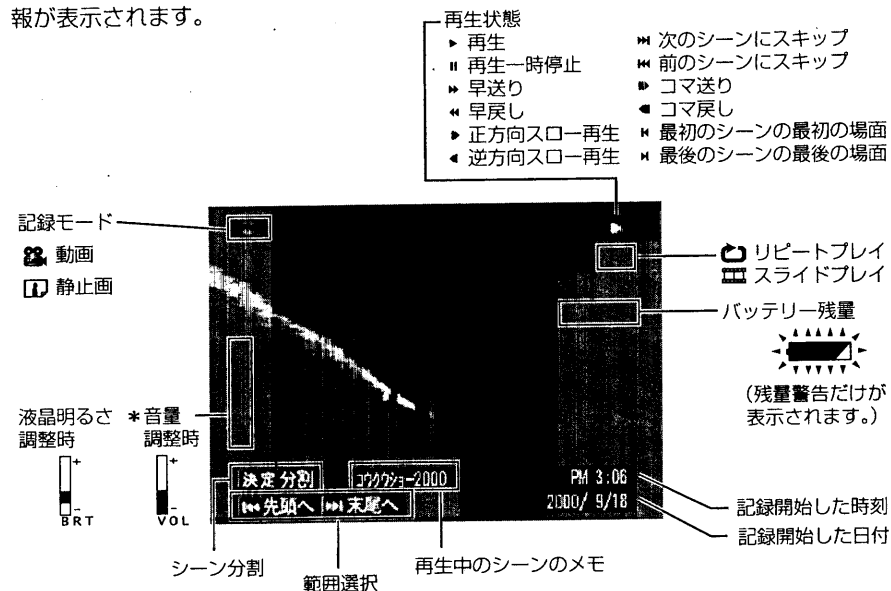
全プログラム

プログラム No.1 2000/9/1					プログラム No.2 2000/9/3					プログラム No.3 2000/10/5				
動画	動画	静止画	動画	動画	静止画	静止画	動画	静止画	動画	静止画	動画

日付ごとに「プログラム」としてまとまっています。

再生時の情報

ビューファインダーや液晶画面で見る再生映像に重なって、撮影に関するいろいろな情報が表示されます。



*再生時の音量は選択ダイヤルを回して調整してください。リモコンの「音量」ボタンでも調整できます。

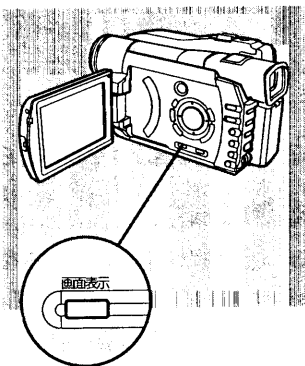
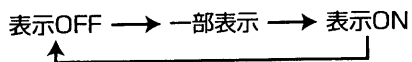
●情報を消す/表示する

再生時の画面情報の表示モードを切り換えることができます。

- ・ 表示OFF：シーン分割、範囲選択表示、◀ 最初のシーンの最初の場面、▶ 最後のシーンの最後の場面のみ表示されます。
- ・ 一部表示：シーン分割、範囲選択、再生状態が表示されます。再生表示▶は、約3秒間だけ表示されます。
- ・ 表示ON：すべての情報が表示されます。

1. 「画面表示」ボタンを押します。


押すたびに、以下のように切り換わります。画面情報表示の内容は、電源を切っても記憶されています。



ディスクナビゲーションでできること ●●●●●●●●●●


ディスクナビゲーションを使って、以下のようなことが行なえます。


●サムネイル表示


記録されている全シーンをサムネイル表示できます（全プログラム）。
撮影した日付ごとの単位でもサムネイル表示できます（プログラム選択  P.100）。


●再生

全プログラムまたは特定のプログラムをサムネイル表示して、以下のような再生ができます。

シーンをひとつ選び、そこから再生を開始できます。静止画の再生は、3秒間の表示となります（ P.102）。


隣り合う複数のシーンを選び、選んだシーンだけを再生できます（範囲選択  P.102）。


何度も繰り返して再生できます（リピートプレイ  P.104）。


静止画だけを3秒間隔で切り替えて表示できます（スライドプレイ  P.105）。


●シーンの編集


全プログラムまたは特定のプログラムをサムネイル表示して、以下のような編集ができます。


不要なシーンを削除できます（ P.106）。


人に見せたくないシーンは、削除しなくても、飛ばして再生するように設定できます（スキップ設定  P.107）。

シーンにメモをつけられます（ P.109）。


シーンに特殊効果（フェード・ワイプ・モノトーン）をつけられます（ P.112）。

動画を2つに分割できます（ P.114）。


複数の動画を結合できます（ P.115）。

シーンに関する情報（撮影した日時や動画の長さ（記録時間）、設定されているメモや動画の特殊効果、スキップ設定など）を表示して確認できます（ P.116）。

●プレイリストの作成と編集

全プログラムまたは特定のプログラムをサムネイル表示して、シーンを選び、99個までのオリジナルストーリーを作成できます（プレイリスト  P.117）。

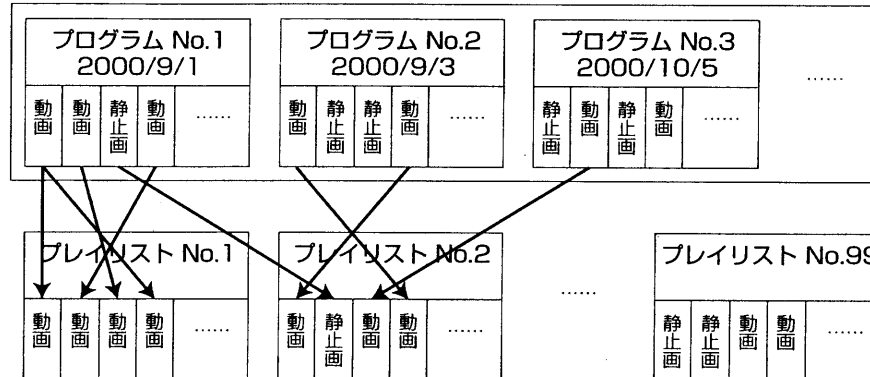
プレイリストにシーンを追加・解除して、いつでも構成を変更できます。プレイリストは、追加した順番にシーンが再生されるので、シーンをランダムに選んで追加することで、オリジナルとは異なる順番で構成したり、同じシーンを何度も繰り返し挿入することもできます。

プレイリストには、タイトルをつけられます（ P.122）。

プレイリストをサムネイル表示して、プレイリスト内の個々のシーンに、元のシーンとは別のメモや特殊効果をつけられます。また、元のシーンとは別の分割や結合もでき、分割したシーンの一部をプレイリストから解除することもできます。

作成したプレイリストは、再生・リピートプレイ・スライドプレイができます。プレイリスト内のシーンにスキップを設定し、再生時に飛ばすこともできます。プレイリスト内で個々のシーンを操作しても、元のシーンはまったく影響を受けないので、自由に編集を楽しめます。

全プログラム



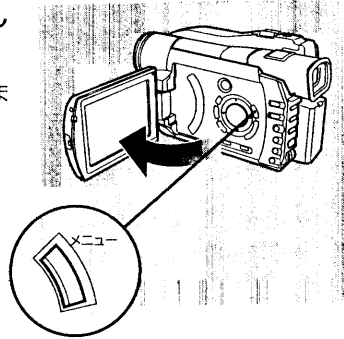
▶▶ ご注意 ◀◀

・ディスクナビゲーションのサムネイル画面、シーン単位のスキップ、メモおよびフェード・ワイプ・モノトーンなどの特殊効果は本機独自の機能であり、DVDビデオレコーディング規格に準拠した機能ではありません。DVDビデオレコーディング規格に対応したDVDレコーダー、DVDプレーヤーでも動作いたしません。

日付ごとの表示に切り換える (プログラム選択) ●●●●●●

シーンがたくさんあるときは、目的の日付のシーンだけを表示したほうが、編集しやすい場合があります。本機で記録されるシーンは、撮影日ごとに「プログラム」としてまとまっているので、プログラムを選択することで、特定の日付のシーンだけを表示できます。

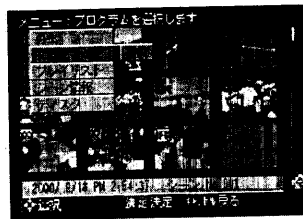
- サムネイル表示画面で、「メニュー」ボタンを押します。
ディスクナビゲーションのメニューが表示されます。



- を1回押して「プログラム」を選び、● を押します。
プログラムに関するメニューが表示されます。

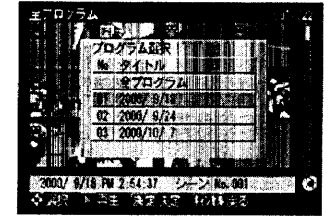


- 「選択」が反転表示されているので、「決定」ボタンを押します。
「プログラム選択」のメニューが表示されます。

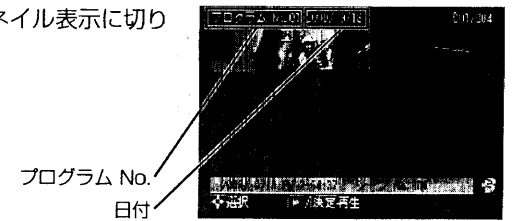


- タイトル一覧から表示したいプログラムを選び、「決定」ボタンを押します。

● を押すと、選択されているプログラムの全シーンが再生されます。



選んだ日付のシーンだけのサムネイル表示に切り換わります。



▶▶ ご注意 ◀◀

- プログラムのタイトルは、撮影された日付に従って設定されています。
- 日付設定 (C/P.51) を変更しても、すでに設定されているタイトルと表示されている順序は変わりません。
- 特定のプログラムを選択して表示したときも、全プログラムのサムネイル表示時と同様に、シーンの選択・再生・編集などを行なえます。

▶▶ ご注意 ◀◀

手順4のプログラムタイトル一覧画面では、以下の操作ができます。

- ⏪ ⏩ ボタン：5プログラムずつの移動
- ⏮ ⏭ ボタン：最終、先頭プログラムへの移動
- ● ボタン：10プログラムずつの移動

● シーン No. について

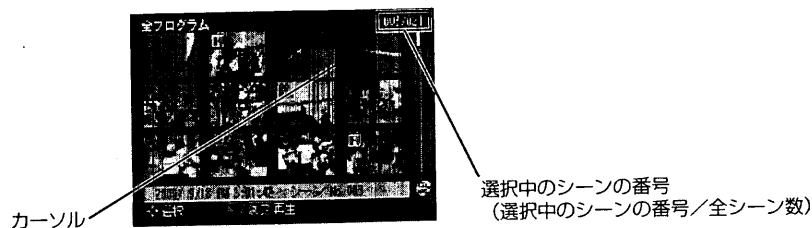
シーンNo.は、そのシーンに固有の番号ではありません。表示中のサムネイルの中での通し番号です。したがって、同じシーン・画像でも、全プログラム表示時と特定のプログラム表示時とで、シーンNo.が異なる場合があります。

シーンを選ぶ

- サムネイル表示画面で、**○** を押して選びます。

選択されているシーンには、ブルーの影がついています。これを、「カーソル」といいます。

また、選択中のシーンの番号が右上に表示されます。



右下隅のシーンにカーソルがあるときに **▶** を押すか、最下行のどれかのシーンにカーソルがあるときに **▶** を押すと、次の12枚(次のページ)が表示されます。ただし、最終ページでは、次のページが表示されません。

左上隅のシーンにカーソルがあるときに **◀** を押すか、最上行のどれかのシーンにカーソルがあるときに **◀** を押すと、前の12枚(前のページ)が表示されます。ただし、先頭ページでは前のページが表示されません。



- カーソルボタンを押し続けると、12枚ずつの単位でページが移動します。
- ▶▶**、**◀◀** を押しでもページの移動ができます。
- ▶▶** を押すと最終ページへ移動、**◀◀** を押すと先頭ページへ移動できます。

複数のシーンをまとめて選ぶ

連続する複数のシーンをまとめて選択できます。
任意にシーンを選択することはできません。

◆◆◆注意◆◆◆

- あとで説明する「スキップ」(P.107)を設定しておけば、そのシーンを飛ばして再生することができます。また、「プレイリスト」(P.97)を使えば、任意に選択した複数のシーンの順番も変えて再生することができます。

- 最初のシーンを選びます。

- 「範囲選択」ボタンを押します。

画面右下に「範囲選択」と表示されます。

- 選択しようとしている範囲の最後のシーンまで、カーソルボタンを押して移動します。

選択されているシーンには、濃いブルーの影がついています。

範囲選択



- 選択しようとしている範囲の最後のシーンから、逆方向に範囲を選ぶこともできます。

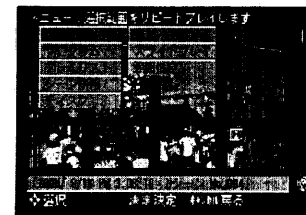
範囲選択を解除するときは、もう一度「範囲選択」ボタンを押します。

メニューを使って選ぶ

ディスクナビゲーションのメニューを使って、最初からカーソル位置まで、カーソル位置から最後まで、あるいは全部のシーンを一度に選択できます。シーン数が多いときなど、カーソルキーを押して選ぶのがわずらわしい場合に便利です。

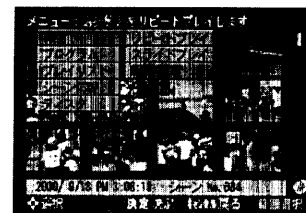
- 範囲の最初または最後にしたいシーン(全部選ぶ場合は任意のシーン)を選択し、「メニュー」ボタンを押して、ディスクナビゲーションのメニューを表示します。

- 「再生」が反転表示されているので、**▶** を押して、再生に関するメニューを表示します。

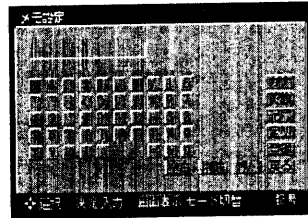


- ▶** を押して「範囲指定」を選び、「決定」ボタンを押します。

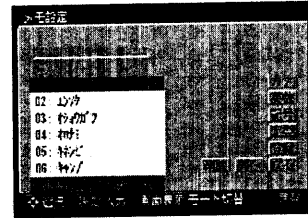
範囲指定のメニューが表示されます。



「記号」モード：記号と数字を入力します。



「定型」モード：定型句を入力します。



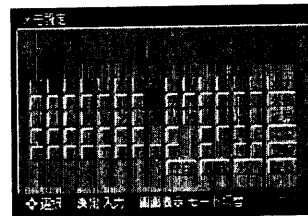
定型句

ウインドウカイ	クリスマス	ツギのウキ	ハイキング
インク	ゴトモル	タジのウキ	ヒナマリ
オショカツ	ゴルフ	テニス	ヤキウ
おけみ	サッカー	ナツヤミ	リョウ
キノル	スキー	ユウエンジ	
キャン	ソウエンジ	ユウガクシ	

「画面表示」ボタンを押して、入力したい文字または定型句のモードに切り換え、カーソルキーで文字または定型句を選んで、「決定」ボタンを押すと、メモの入力ボックスに表示されます。

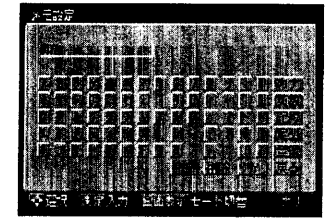
例えば、「タロウ ノ ウインドウカイ 2000」というメモは、次のようにして入力します。

- 「画面表示」ボタンを押して「カナ」モードを表示し、カーソルキーで「タ」を選んで、「決定」ボタンを押します。
メモの入力ボックスの左端に「タ」と表示されます。



- 「カナ」モードのまま、「ロ」・「ウ」を入力し、それぞれ決定します。

次に「空白」を選び、「決定」ボタンを押します。

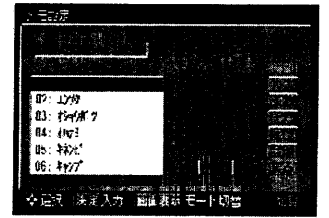


- 続けて「ノ」・「空白」を入力し、それぞれ決定します。

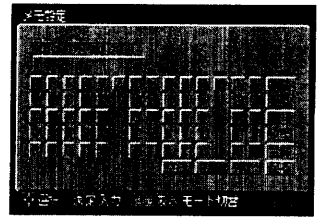
- 「画面表示」ボタンを押して、「定型」モードに切り換えます。

カーソルキーで「定型」を選び、「決定」ボタンを押しても、「定型」モードに切り換わりません。

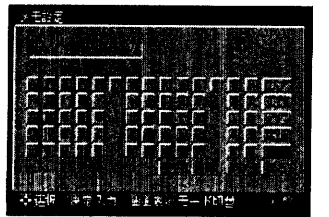
- 「01：ウインドウカイ」を選び、「決定」ボタンを押します。



- 「英数」モードに切り換え、「空白」・「2」・「0」・「0」・「0」と入力し、それぞれ決定します。



- メモを入力し終わったら、「登録」を選んで「決定」ボタンを押します。





メッセージが表示されたとき

操作の途中でメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたときには、その内容に応じて、適切に対処してください。

メッセージ	原因	対処方法
管理情報エラーが発生しました	<ul style="list-style-type: none"> 記録されている映像と、シーン情報の不整合が生じている可能性があります。 ディスクが汚れているなどの可能性があります。 	管理情報更新を行なってください (C P.136)。 ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。
ディスクエラーが発生しました	<ul style="list-style-type: none"> 本機以外の機器で編集して記録情報の不整合が生じている可能性があります。 ディスクが汚れているなどの可能性があります。 	ディスクを初期化してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。 ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。
登録シーンが全て解除されたため、編集されたプレイリストを削除しました	プレイリストのシーンをすべて解除しました。	—
カートリッジがライトプロテクトされています ライトプロテクトを解除してからご利用ください	—	カートリッジのライトプロテクトを解除してください。
バッテリーが消耗しています バッテリーを交換してからご利用ください	—	充電したバッテリーに交換してください。
結合するシーンが複数選択されていません シーンを複数選択してから結合してください	—	結合したいシーンを2シーン以上範囲選択してから結合してください。
選択範囲に静止画が含まれているため結合できません	—	動画のみを選択してから結合してください。
登録可能なシーン数を超過しています 分割できません	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。	別のシーンをいくつか削除 (解除) してください。

4

メッセージが表示されたとき

撮った映像を見る・削除する・編集する

メッセージ	原因	対処方法
登録可能なシーン数を超過しています シーンを登録できません	プレイリストに登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。	別のシーンをいくつか解除してください。
シーンを解除できません	分割などの編集を行なったシーンを解除する際に起こる可能性があります。	分割したシーンを結合してから解除してください。
シーンを削除できません	分割などの編集を行なったシーンを削除する際に起こる可能性があります。	分割したシーンを結合してから削除してください。
このディスクにはサムネイルを表示できないシーンがあります サムネイル生成のために管理情報を追加しますか?	本機以外の機器で編集されたディスクを使用したり、本機で結合などの編集を行なうと、プログラムやプレイリストの先頭のサムネイルを表示できなくなる場合があります。	確認画面で「はい」を選択してください。ディスクナビゲーション起動後に必要に応じて自動的にサムネイルを生成します。
いくつかの管理情報を追加できませんでした	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しているため、サムネイル生成用の管理情報を追加できません。	いくつかのシーンを結合するか、削除 (解除) してください。
このディスクは初期化されていません 初期化しますか?	パソコンなどで初期化したディスクではありませんか?	本機でこのディスクを使う場合は「はい」を選択して、初期化を行ってください。
ディスクにエラーを検出しました 初期化を試みるのが可能です ディスクを初期化すると、記録されている映像は全て消去されます 初期化しますか?	パソコンなどで初期化中に中断したディスクではありませんか?	—
ディスクエラーが発生しました ディスク初期化できませんでした	ディスクが汚れているなどの可能性があります。	ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。
ディスクエラーが発生しました 使用中のディスクを入れたまま電源を入れ直してください	映像ファイル編集中にディスクエラーが発生した可能性があります。	使用中のディスクを本機に入れたまま電源を一旦切り、ACアダプター/チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復を行ないます。

4

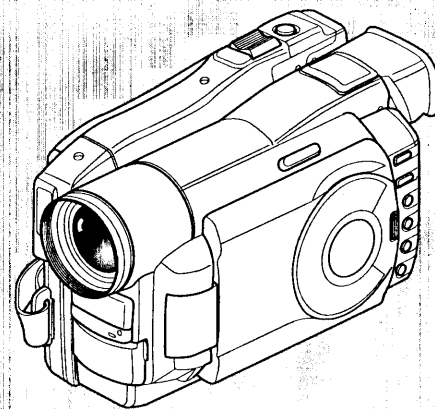
メッセージが表示されたとき



メッセージ	原因	対処方法
ディスク残量が不足しているため実行できません	—	不要な映像を削除してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。
ディスクが高温のため処理を継続できませんしばらく間をおいてから実行してください	本機内の温度が高温になっています。本機内の温度が高温になると正常にディスクに記録されたデータを読み書きできない可能性があります。	電源を切って、しばらくお待ちください。 風通しの良いところに置くと効果的に温度を下げるができます。
①映像ファイルの一部にエラーを検出しました。映像ファイルを修復します。	映像記録中や編集（シーン削除・シーン分割・結合・プレイリストの作成など）中に誤って電源を切るなどして、システムがファイル書き込み処理を正常に終了できなかった可能性があります。「はい」を選択すると、自動的に映像ファイルの修復を行いません。「いいえ」を選択しても、次に電源を入れたときに再び同様なメッセージが表示されます（ディスク認識中にディスクは取り出さないでください。ファイル修復機能が働きません）。	画面の指示に従ってください。このときに以下のような注意事項があります。 ・電源が切られたタイミングによっては、修復できない場合があります。 ・他のレコーダーなどで記録されたデータが含まれると、正常に修復できない場合があります。 ・不具合箇所の部分削除などにより、修復されたデータは元の記録内容と異なる場合があります。 ・修復されたデータ（部分修復の場合は修正箇所のみ）については、修復実行時の日時情報が付加されるため、元の日時情報は失われます。 ・全動画→全静止画の順で修復が行なわれるため、記録内容の前後関係が失われる場合があります（メッセージ③の場合のみ）。
②映像ファイルにエラーを検出しました。映像ファイルを修復します。よろしいですか？		
③映像ファイルの一部修復に失敗しました。さらに全体修復を試みることが可能です。処理に時間がかかる場合がありますが、実行しますか？		
ACアダプターを使用してください。	バッテリーパックを使っていると、映像ファイルの修復はできません。	手元にACアダプター/チャージャーがない場合は、ディスクを取り出し、裏面または他のディスクをお使いください。取り出したディスクを修復するには、後で本機にディスクを挿入し、ACアダプター/チャージャーを接続してから行ないます。
映像ファイルの修復に失敗しました ディスクを交換するか、ディスクの初期化を行ってください	修復しようとしているディスクに異常が発生しました。	ディスクを初期化してからご利用になるか、ディスクの反対面か、別のディスクをお使いください。

ビデオカメラを設定する

操作音を消す/鳴らす	128
パワーセーブを解除する/時間を変更する	129
日付と時刻の表示方法を変更する	130
すべての設定を初期設定に戻す	131
システムリセット	132
DVD-RAMディスクの残り記憶容量を確認する	133
DVD-RAMディスクを初期化する	134
管理情報を更新する	136





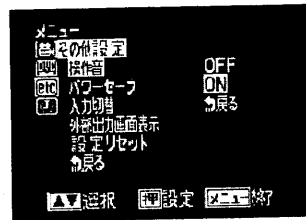
操作音を消す／鳴らす

本機は、電源入／切、録画ボタンを押したときなどに、操作音がなるようになってい
ます。必要がない場合は、操作音を消すことができます。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

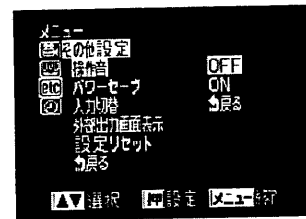
2. 選択ダイヤルで「その他設定」→「操作音」の順に
選択します。

選択肢が表示され、「ON」が反転表示されています。



3. 選択ダイヤルを回して「OFF」に変更し、選択ダ
イヤルを押します。

その他設定のメニューに戻り、「操作音」が「OFF」
に変わっています。



4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

●操作音について

操作音	操作音の回数	操作音	操作音の回数
電源スイッチ ON	1	外部入出力静止画記録時	1
電源スイッチ OFF	2	ディスク認識完了時	2
取り出し動作完了時	2	PC 接続完了時	1
取り出しボタン受付可能時	1	PC 接続終了時	1
録画ボタン受付時	1	ディスクナビゲーション 初期化確認画面表示	1
動画記録終了時	2	ディスクナビゲーション シーン削除画面表示	1
フォトボタン半押し時	2	ディスクナビゲーション 管理情報更新表示	1

5. 操作音を消す／鳴らす



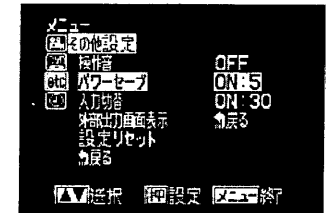
パワーセーブを解除する／時間を変更する

本機は、記録一時停止状態が約5分間続くと、自動的に電源が切れてバッテリーの消耗
を防ぐようになっています。頻繁に電源が切れてわずらわしい場合は、自動的に電源が
切れるまでの時間を約30分に変更することができます。また、長期間使用しない場合
にバッテリーパックを使い切りたいときは、パワーセーブを解除することもできます。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

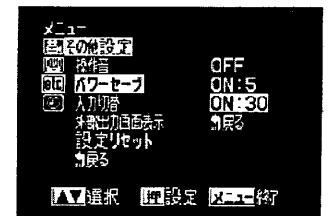
2. 選択ダイヤルで「その他設定」→「パワーセーブ」
の順に選択します。

選択肢が表示され、「ON:5」が反転表示されていま
す。



3. 選択ダイヤルを回して「ON:30」(約30分後に電
源切)または「OFF」(パワーセーブ解除)に変更
し、選択ダイヤルを押します。

その他設定のメニューに戻り、「パワーセーブ」が
「ON:30」または「OFF」に変わっています。



4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

パワーセーブの設定は、画面情報には表示されません。また、パワーセーブの設定は、
電源を切っても変わりません。ビデオカメラを使い終わったら、次回使用時に不用意に
バッテリーが消費しないよう、約5分後に電源が切れるように設定を戻しておくこと
をお勧めします。

5. パワーセーブを解除する／時間を変更する

日付と時刻の表示方法を変更する

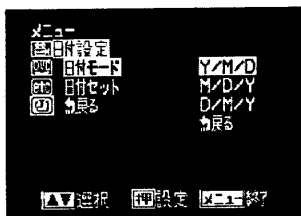
日付の表示方法を、「年/月/日」、「月/日/年」、「日/月/年」のどれかに変更できます。選択した日付の表示方法に応じて、時刻の表示方法も変わります。日付と時刻の表示方法は、次のような組み合わせになります。

表示フォーマット	日付の表示方法	時刻の表示方法
Y/M/D	年/月/日	AM/PM0:00
M/D/Y	月/日/年	0:00AM/PM
D/M/Y	日/月/年	0:00(24 時制)

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

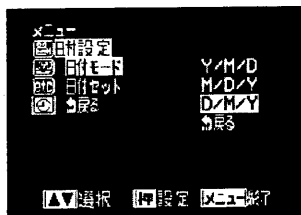
2. 選択ダイヤルで「日付設定」→「日付モード」の順に選択します。

選択肢が表示され、「Y/M/D」(現在の表示方法)が反転表示されています。



3. 選択ダイヤルを回して表示方法を変更し、選択ダイヤルを押します。

日付設定のメニューに戻り、「日付モード」が設定した表示方法に変わっています。



4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

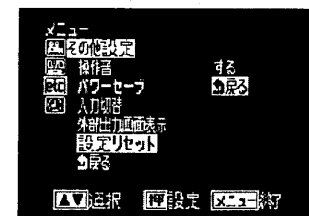
すべての設定を初期設定に戻す

カメラメニューのすべての設定を初期状態(工場出荷時の設定値)に戻すことができます(日付・時刻設定は戻りません)。

1. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

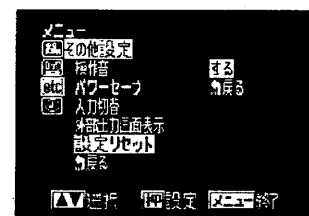
2. 選択ダイヤルで「その他設定」→「設定リセット」の順に選択します。

「戻る」が反転表示されています。



3. 選択ダイヤルを回して「する」を選び、選択ダイヤルを押します。

「その他設定」のメニューに戻ります。この時点で、すべての設定項目は初期状態になっています。



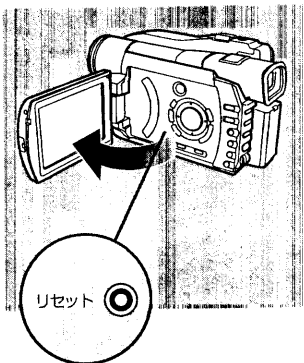
4. 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

システムリセット

本機が正常に動作しないときは、システムリセットを行なうと、回復することがあります。システムリセットをすると、すべての設定値が工場出荷時の状態に戻り、日付もリセットされます。使用開始前に日付を設定しなおしてください。

1. ビデオカメラの電源を切り、バッテリーパック・ACアダプター/チャージャーを外します。

2. 先の細いペンなどでリセットボタンを数秒間押しします。



●設定項目一覧

	設定項目	設定値	設定方法
カメラ機能	フラッシュ	ON/OFF	P.83
	ホワイトバランス	HOLD	P.77
	手振れ	OFF	P.71
	電子ズーム	OFF	P.65
記録モード	動画モード	STND	P.75
	外部静止画入力	フレーム	P.143
	セルフ/インターバル	セルフタイマー/インターバル (0:30~5:00)	P.84、P.86
その他	マイクフィルター	ON	P.79
	操作音	OFF	P.128
	パワーセーブ	OFF/ON:30	P.129
	入力切替	LINE	P.141
日付	外部出力画面表示	LINE OFF	P.142
	日付の表示方法	M/D/Y / D/M/Y	P.130
	日付セット		P.51

※ [初期値] は初期値です。

DVD-RAMディスクの残り記憶容量を確認する

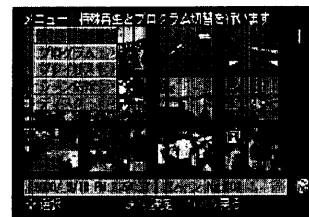
ビデオカメラを設定する

ディスク片面に、あとどのくらい撮影できるかを確認できます。

1. 記録一時停止状態のときに「ディスクナビゲーション」ボタンを押します。

2. 「メニュー」ボタンを押します。

ディスクナビゲーションのメニューが表示されます。

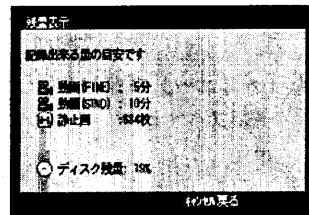


3. [決定] を押して「ディスク」を選択し、[決定] を押してディスクに関するメニューを表示します。



4. 「残量表示」が反転表示されているので、「決定」ボタンを押します。

ディスクの残量が表示されます。



- ・ ライトプロテクトされたディスクでは、残量が「0」と表示されます。

- ・ カメラ撮影モードでの残量表示でも確認できます (P.60)。

5. 「キャンセル」ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。



DVD-RAM ディスクを初期化する

初期化されていないAV用途のDVD-RAMディスクを使用する場合は、ディスクを初期化する必要があります。また、すでに撮影済みのディスクの内容をすべて消去してディスクを再利用したい場合にも、内容を削除するのではなく、初期化してから再利用することもできます。

◆注意◆

- ・ DVD-RAMディスクを初期化すると、記録された動画・静止画はすべて消去されます。誤って初期化してしまわないようご注意ください。
- ・ DVD-RAMディスクを初期化するときは、途中で電池が切れないように、必ずACアダプター/チャージャーを使用してください。
- ・ 傷や汚れの多いディスクは、初期化ができない場合があります。このようなディスクは使用できません。

1. 初期化する面を外側(グリップベルト側)にしてDVD-RAMディスクを入れ、ビデオカメラの電源を入れます。
2. ディスク認識終了後「ディスクナビゲーション」ボタンを押します。
3. 「メニュー」ボタンを押します。

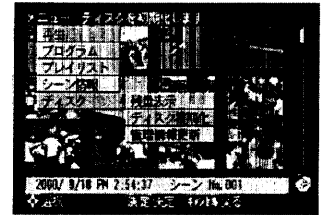
ディスクナビゲーションのメニューが表示されます。



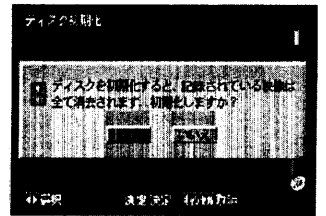
4. ● を押して「ディスク」を選択し、● を押して、ディスクに関するメニューを表示します。



5. ● を押して「ディスク初期化」を選択し、「決定」ボタンを押します。
確認のメッセージが表示されます。



6. 「はい」を選択して、「決定」ボタンを押します。
DVD-RAM ディスクの片面の初期化が終了すると、記録一時停止状態に戻ります。



続けて反対側の面を初期化するときは、ディスクを裏返して手順2から繰り返してください。

◆注意◆

初期化する場合は、ディスクナビゲーション画面で記録されている内容を再度確認してから、初期化してください(P.98)。



管理情報を更新する

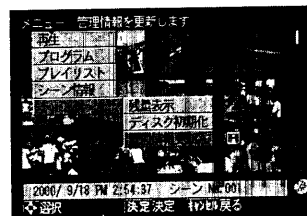
本機のディスクナビゲーションでは、シーンに関する情報が独自の 방법으로管理されています。本機で記録したDVD-RAMの映像データを他の機器などで編集してしまうと、この管理情報に不整合が起り、ディスクナビゲーションで正しく再生できなくなる場合があります。その場合は、管理情報を更新すると、またディスクナビゲーションで再生できるようになります。ただし、管理情報を更新すると、映像に設定していた情報(メモ・スキップ・フェードなど)はすべて失われます。また、管理情報更新は、記録されているシーンが多い場合には、時間がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。

電源は必ずACアダプター/チャージャーを使用してください。

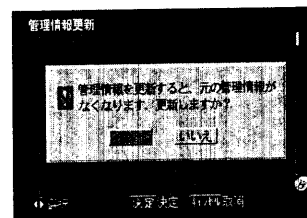
1. 記録一時停止状態のときに「ディスクナビゲーション」ボタンを押します。
2. 「メニュー」ボタンを押します。
ディスクナビゲーションのメニューが表示されます。
3. ●を押して「ディスク」を選択し、●を押してディスクに関するメニューを表示します。



4. ●を押して「管理情報更新」を選択し、「決定」ボタンを押します。
確認のメッセージが表示されます。



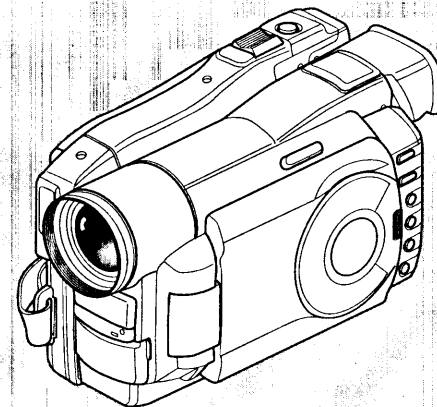
5. 管理情報を更新する場合は、「はい」を選んで「決定」ボタンを押します。
更新中のメッセージが表示されたあと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
更新中のメッセージが表示されている間、黒い画面が出る場合があります。
確認の画面が表示されたときに、「いいえ」を選んで「決定」ボタンを押すか、「キャンセル」ボタンを押せば、管理情報の更新を取り止めることができます。



他の機器との接続

本機をテレビなどのAV機器に接続したり、DVD-RAMディスクのデータをパソコンに取り込む方法を紹介します。

テレビで見る.....	138
他のAV機器からの映像を録画する.....	140
パソコンにデータを取り込む.....	144

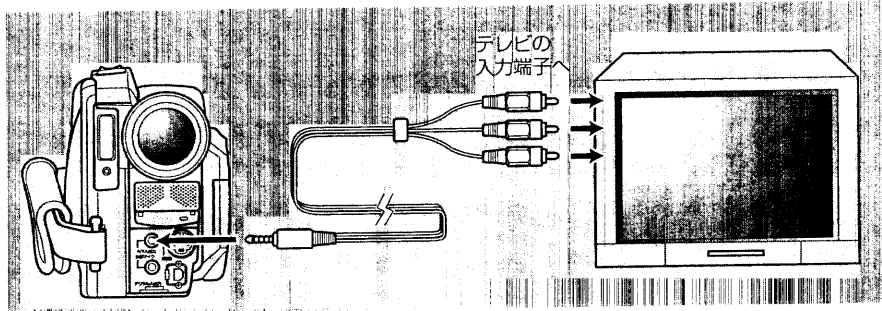


テレビで見る

本機をテレビにつないで、撮影した映像や撮影中の映像を見ることができます。ディスクナビゲーションを使った編集や再生時にも便利です。

テレビにつなぐ

付属のAV出力ケーブルを使って本機とテレビを下の図のように接続します。



注意

- 接続する前に、必ずテレビの音量が下がっていることを確認してください。再生を停止するときもカメラをテレビから離してから操作してください。
- 市販のS端子ケーブルを使って接続することもできます。
- AV入出力ケーブルはななめに差し込むと端子を破損するおそれがあります。まっすぐに差し込んでください。

テレビで見る

- テレビの電源を入れ、入力切替を「ビデオ」にします。
テレビの入力切替の方法は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の電源を入れます。
本機の映像がテレビに表示されます。同時に本機の液晶画面またはビューファインダーでも映像を確認できます。

- 再生や撮影を行いません。
音量の調整はテレビ側で行なってください。



- テレビで見ながら操作するときはリモコンを使うと便利です。ただし、当社製のビデオデッキをお使いの場合は、本機のリモコンで動作することがあるので、その場合はビデオのリモコンコードを「VTR2」以外に変更してお使いください。

画面情報を消す

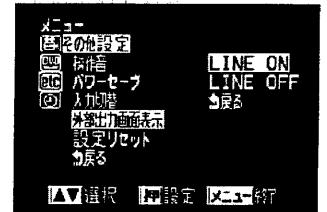
ビューファインダーや液晶画面に表示される画面情報をテレビに表示しないようにできます。

リモコンの「外部出力画面表示」ボタンでも、同様に設定が切り換えられます。

- 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

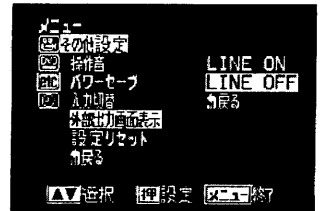
- 選択ダイヤルで「その他の設定」→「外部出力画面表示」の順に選択します。

選択肢が表示され、「LINE ON」が反転表示されています。



- 選択ダイヤルを回して「LINE OFF」に変更し、選択ダイヤルを押します。

その他のメニューに戻り、「外部出力画面表示」が「LINE OFF」に変わっています。



- 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を消します。

テレビに画面情報が表示されていないときは、ビューファインダーまたは液晶画面で情報を確認してください。

注意

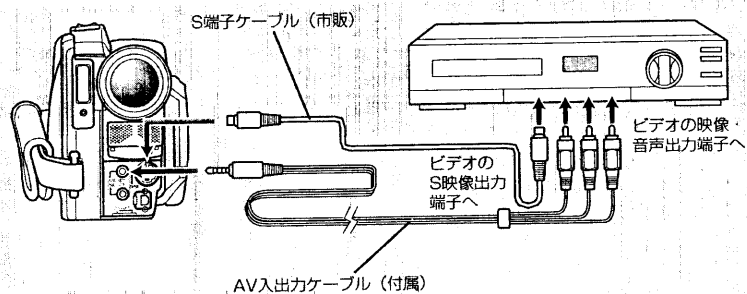
外部出力画面表示を「LINE OFF」に設定しても、再生時の画面情報は表示されます。

他のAV機器からの映像を録画する

これまでのビデオテープに録画した映像などの再生映像を、本機の外部入力に入力することでDVD-RAMディスクに録画しなおすことができます。

他のAV機器と接続する

付属のAV入出力ケーブルまたは市販のS端子ケーブルを使って、本機と他のAV機器を下図のように接続します。



▶▶ ご注意 ◀◀

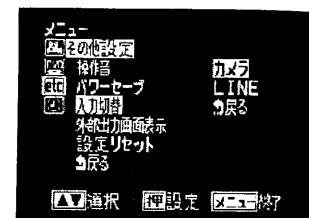
- 接続する前に、必ず本機および接続する機器の電源を切ってください。
- AV入出力ケーブルとS端子ケーブルの両方が接続された場合の映像入力は、S端子ケーブルが優先となります。
- 本機でカメラ撮影する場合は、AV入出力ケーブルやS端子ケーブルを他の機器の出力端子に接続しないでください。他の機器の音声の本機にもれることがあります。
- 当社製のビデオデッキをお使いの場合は、本機のリモコンで動作することがあります。当社製のビデオデッキから映像を録画する場合は、ビデオのリモコンコードを「VTR2」以外に変更してお使いください。
- 映像を入力せずに動画、静止画を記録することはできません。

他のビデオカメラや他のAV機器から録画する

1. 本機を接続後、電源を入れます。
2. 記録一時停止状態のときに「メニュー」ボタンを押し、メニュー画面を表示します。

3. 選択ダイヤルで「その他設定」→「入力切替」の順に選択します。

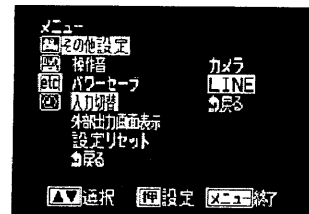
選択肢が表示され、「カメラ」が反転表示されています。



4. 選択ダイヤルを回して「LINE」に変更し、選択ダイヤルを押します。

その他のメニューに戻り、「入力切替」が「LINE」に変わっています。

電源を切ると「入力切替」は「カメラ」に戻ります。



5. 「メニュー」ボタンを押して、記録一時停止状態に戻ります。

入力切替が切り変わったことは画面情報で確認できます。



6. 接続した機器の電源を入れ、映像の再生を開始します。

本機の液晶画面に映像が映ります。

7. 本機で録画します。

録画するときの操作方法は、ビデオカメラで撮影するときと同じです。

動画を録画するだけでなく、記録モードを切り換えて静止画を撮ることもできます。

ただし、「フォート」ボタンの半押しは無効になります。

録画内容は、カメラで撮影されたシーンと同様に再生することができます。ただし「入力切替」を「LINE」にしたまま再生すると、テレビに映像と音声が出ません。

パソコンにデータを取り込む

本機で記録したデータをパソコンで取り込むためには、いくつかの方法があります。また最新の関連情報は、インターネットのウェブサイト (<http://dvd.hitachi.co.jp>) でご覧になれます。

▶▶ ご注意 ◀◀

インターネット上のウェブサイトのアドレスは2000年8月25日現在のアドレスです。変更する可能性がありますのでご了承ください。

●オプションのPC接続キット (DZ-WINPC1) を使用する場合

オプションのPC接続キット (DZ-WINPC1) を使用することで、本機で撮影した静止画を Windows98^{※1)} パソコンで活用、お楽しみいただけます。

撮影した静止画を活用する

本機は、静止画を撮影した際にテレビで見るための静止画 (MPEG2 画像 704 × 480 画素) とパソコンでご利用いただくための静止画 (JPEG 画像 1280 × 960 画素) の2種類の画像をディスク上に記録します。PC接続キットを使用して、パソコンでご利用いただくための静止画を取り込むことができます。

注1) パソコンの種類は個人で組み立てたものを含め、極めて多くの種類があります。このため動作の確認がとれたパソコンに関しましては互換情報をインターネット上で随時更新してまいります。お使いのパソコンがPC接続キットの使用が可能かどうかは、次ページの「PC接続キット (DZ-WINPC1) を使用するための条件」とインターネット上の情報をご覧ください。

▶▶ ご注意 ◀◀

PC接続キット (DZ-WINPC1) でご利用いただけるパソコンはWindows98を使用したIBM PC / AT互換機だけです。下記「PC接続キット (DZ-WINPC1) を使用するための条件」をよくお読みください。

パソコンのUSB端子に接続したときに、本機はパソコンの外付けDVD-RAMドライブとして認識されます。外付けDVD-RAMドライブとして本機にデータを記録したり、データを読み出しすることが可能になりますが、動作保証いたしておりません。

●DVD-RAMドライブ、DVD-ROMドライブ付きパソコンの場合

4.7GBのDVD-RAMディスク対応かつ8cmディスク対応のDVD-RAM / ROMドライブ付きパソコンで、UDF2.01に対応したファイルシステムが入っている場合は、OSの種類に関係なく、本機で記録したディスクをカートリッジから取り出して、データを読むことができます。

撮影した静止画を活用する

静止画はJPEG画像 (1280 × 960画素) としてディスクに記録されています。JPEG画像に対応したアプリケーションでお楽しみください。

撮影した動画を活用する

動画はDVDビデオレコーディング規格に準じて記録されています。DVDビデオレコーディング規格に準じたアプリケーションソフトでお楽しみください。

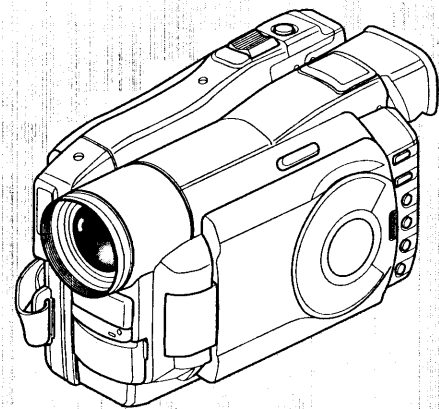
PC接続キット (DZ-WINPC1) を使用するための条件

PC接続キット (DZ-WINPC1) を使って本機をパソコンに接続するには、以下のような条件があります。

- ・ 日本語 Windows98 プリインストールパソコン
- ・ IBM PC / AT 互換機
- ・ USBポートを標準で装備
- ・ CD-ROM または DVD-ROM ドライブを装備

参 考

別売品の紹介.....	150
お手入れのしかた.....	151
海外で使うとき.....	152
メッセージが表示されたら.....	153
故障かな...と思ったら.....	155
保証とアフターサービス (必ずお読みください).....	162
主な仕様.....	164
索引.....	166

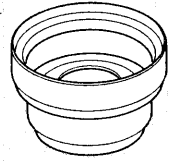




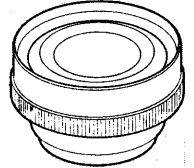
別売品の紹介

カメラアクセサリ

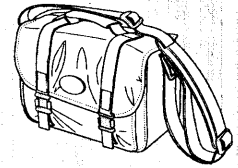
ワイドコンバージョンレンズ (DZ-WL1)



テレコンバージョンレンズ (DZ-TL1)

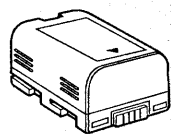


キャリングケース (VW-CB280SB)

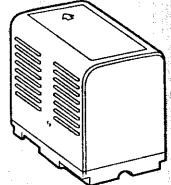


電 源

バッテリーパック (DZ-BP16)
7.2V / 1600mAh

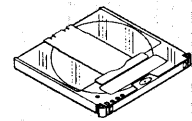


バッテリーパック (DZ-BP28)
7.2V / 2800mAh



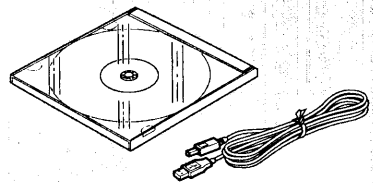
ディスク

8cm DVD-RAM ディスク (DRMS-V28R)
(日立マクセル製品)



その他

PC 接続キット (DZ-WINPC1)



お手入れのしかた

本機のお手入れをするときは、必ず電源を切ってください。

液晶画面やレンズの汚れは

乾いた柔らかい布などでふき取ってください。液晶画面をふくときには、強く押ししたり、ひっかいたり、衝撃を与えないようご注意ください。傷ができたり、表示ムラができることがあります。液晶画面が壊れるおそれもあります。

本体ケースをベンジンやシンナーでふかない

本体ケースの塗装がはげたり、変質することがあります。本体ケースの汚れは、水で固く絞った布などでふき取ってください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

ビューファインダーのレンズにゴミが付着したときは

綿棒などでふき取ってください。強くこすると傷ができるおそれがあります。















別売品の紹介

お手入れのしかた

海外で使うとき

本機は海外でもお使いいただけます。付属のACアダプター/チャージャーはAC100～240V・50/60Hzの電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、コンセントの形状に合った市販の変換プラグアダプターをお求めのうえ、お使いください。各国のコンセントの形状については、旅行代理店などでおたずねください。

●コンセントの形状と変換プラグの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状	  主に北米・南米・グアム・サイパン	 	 イギリスなど	   主にヨーロッパ	  主にオーストラリア
変換プラグ	不要です。そのままコンセントに差し込んでください。				

再生映像をテレビに接続してご覧になる際は、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）で、映像・音声入力端子付きのテレビであれば、付属のAV入出力ケーブルを使って接続することができます。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）を採用している国または地域（五十音順）

・アメリカ合衆国 ・キューバ ・コロンビア ・リベリア ・ハイチ ・パナマ ・ベネズエラ ・ミャンマー
 ・エクアドル ・グアテマラ ・スリナム ・ドミニカ ・バハマ ・フィリピン ・ペルー ・メキシコ
 ・エルサルバドル ・グアム ・大韓民国 ・トリニダード・トバゴ ・パプアニューギニア ・ポルトガル ・ホンジュラス
 ・カナダ ・コスタリカ ・台湾 ・ニカラガア ・バルバドス ・ネパール ・ルーマニア

・本機は国内仕様です。付属の保証書は国内のみ有効です。万一海外で故障や不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用の補償については、ご容赦ください。

海外で使うとき

メッセージが表示されたら

メッセージ	考えられる原因	対処方法
記録はできません	本機に入力されている映像の信号にコピーガードがかかっている可能性があります。	映画などの映像ソフトには、コピー防止のためのガードがかかっているものがあります。このような映像は、本機で録画することはできません。
このディスクには記録できません	本機で使用できないディスクが入っているか、DVD-RAMディスクが書き込み禁止になっています。	ディスクの種類が正しいか、確認してください。DVD-RAMディスクが書き込み禁止になっていないか、確認してください。
ディスクが初期化されていません	DVD-RAMディスクが初期化されていないか、壊れている可能性があります。	このメッセージが出たら、必ず本機で初期化してからお使いください。本機で使用したDVD-RAMディスクでも、再度初期化が必要になる場合もあります（初期化すると、ディスクに記録されている内容はすべて消去されます）。このメッセージが表示されたら、一度初期化してみてください。それでも同じメッセージが表示される場合は、DVD-RAMディスクが壊れている可能性があります。別のDVD-RAMディスクを使用してください。
ディスクに保存中です	撮影した映像をDVD-RAMディスクに保存しています。	しばらくお待ちください。メッセージが消えたら、使用を開始できます。
ディスク残量がなくなりました	DVD-RAMディスクがいっぱいになりました。	これ以上録画することはできません。どうしてもこのディスクに録画したい場合は、不要な映像を削除してください。
ディスク残量がなくなりました	DVD-RAMディスクがまもなくいっぱいになり、録画できなくなります。	ディスクを交換してください。

メッセージが表示されたら

故障かな…と思ったら

修理を依頼する前に、下記のことをお調べください。それでも具合が悪いときは、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては、P.162をご覧ください。

メッセージ	考えられる原因	対処方法
ディスク認識 中です	正しいDVD-RAMディスクが入っているか、本機がチェックしています。	しばらくお待ちください。メッセージが消えたら、使用を開始できます。日付が変わったときには、このメッセージが少し長く表示されます。
ディスクを入れてください	DVD-RAMディスクが入っていません。	DVD-RAMディスクを入れてください。
	ビデオカメラまたはDVD-RAMディスクを温度の低いところから温かいところへ移すと、このメッセージが表示されることがあります。	カメラのレンズまたはDVD-RAMドライブで露付きが発生しています。ディスクを入れたまま、電源を切った状態なるべく乾燥した場所に1~2時間以上放置してください。

	こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
電源について	電源を入れてもすぐに切れる	バッテリーパックは充電されていますか？	バッテリーパックを充電してください。	38
	電源を入ると、液晶画面がついたり消えたりする			
	途中で電源が切れる	電源を入れたまま、撮影や再生をせずに5分以上経過しましたか？	本機は、電源を入れたまま、撮影せずに5分以上経過すると、自動的に電源が切れるようになっています（パワーセーブ）。自動的に電源が切れるまでの時間を長くしたり、パワーセーブを解除することもできます。	129
	電源が切れない	—	バッテリーパックまたはACアダプター/チャージャーを抜いてください。この場合、ディスクは取り出せません。バッテリーパックまたはACアダプター/チャージャーを差したまま、再度電源を入れてください。	—
液晶画面またはビューファインダーに映像が出ない		PC接続ケーブルでパソコンと接続していませんか？	PC接続ケーブルを抜いてください。	147
		ワイプアウトを設定して再生したシーンの最後に停止していますか？	ディスクナビゲーションボタンを押してください。	112

7

メッセージが表示されたら

7

故障かな…と思ったら

こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
バッテリーパックがすぐになくなる	温度が極端に低い場所で使用しませんでしたか？	満充電されたバッテリーパック(DZ-BP16)は、通常40分～1時間は使用できますが、寒冷地などではこれより早くなります。低温の場所でご使用になるときは、バッテリーパックを多めに用意ください。	39
	バッテリーパックの寿命も考えられます。	バッテリーパックは、長期間あるいは頻りに使用すると、性能が劣化します。新しいバッテリーパックをお買い求めください。	42
バッテリーパックが充電されない	充電するときにACアダプター／チャージャーのPOWERランプが点灯・点滅していましたか？	バッテリーパックがACアダプター／チャージャーにきちんと取り付けられていない可能性があります。バッテリーパックをいったん外し、取り付けなおしてください。きちんと取り付けてもPOWERランプが点滅する場合は、バッテリーパックの寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお買い求めください。	38
	ACアダプター／チャージャーにDCパワーコードが接続されていませんか？	DCパワーコードを外してください。	
	バッテリーパックは正しく取り付けられていますか？	バッテリーパックを取り付ける向きを確認し、いったん外してから取り付けなおしてください。	

故障かな...と思ったら

こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ	
充電するときにACアダプター／チャージャーのCHG・80・100%ランプが点滅する	バッテリーパックが異常に熱くなっていますか？	バッテリーパックを外して、しばらく放置し、温度が低くなってから充電してください。	40	
	周囲の温度が低い、または高くなっていますか？	充電は気温が10～30℃の環境で行ってください。		
充電するときにACアダプター／チャージャーのPOWERランプが点滅する	長期間使用しなかったバッテリーパックではありませんか？	いったんバッテリーパックを外し、取り付けなおしてください。それでも充電されない場合は、バッテリーパックの寿命を考えられます。新しいバッテリーパックをご用意ください。	42	
撮影・録画時	「録画」ボタンを押しても録画が始まらない	記録モードが静止画になっていませんか？	静止画モードになっていると、「録画」ボタンを押しても録画できません。動画モードに切り換えてください。	64
		入力されている映像にコピーガードがかかっていますか？	コピーガードがかかっている映像は、本機では録画できません。	142
	録画を開始しても、すぐ止まってしまう	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？	ディスクをクリーニングしてください。それでも改善されない場合は、ディスクを交換してください。	37
	他のAV機器から直接本機の映像／音声入力端子に接続していますか？	AVセレクトなど多くの機器を経由して接続すると、映像信号がうまく伝わらない場合があります。その場合は、映像信号が経由する機器の数を減らすか、直接接続してください。	140	

故障かな...と思ったら

こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
録画を開始しても、すぐ止まってしまう	テレビゲーム機やパソコンの映像を録画しようとしていませんか？	テレビゲーム機やパソコンの機種によっては、映像を本機で録画できない場合があります。	142
液晶画面が見にくい	液晶画面の明るさは調節しましたか？	撮影や録画をいったん停止し、液晶画面の明るさを調節してください。	59
	屋外で使用していますか？	ビューファインダーをお使いください。液晶画面をお使いになる場合は、液晶画面に直射日光が当たらないように、角度を調節してみてください。	58
ピントが合わない	オートフォーカスが働きにくい被写体ではありませんか？	手動でピントを合わせてください。	63,72
	「FOCUS」と表示されていませんか？	マニュアルフォーカスになっています。手動でピントを合わせるか、マニュアルフォーカスを解除してください。	72
	ビューファインダーの場合は、視度調節が合っていますか？	視度調節をしてください。	57
	上記以外の場合は、一度電源を切り、入れなおしてください。		
再生時	ディスク認識が終了しない	柔らかい乾いた布でお手入れしてください。	—
	再生ボタンを押しても再生できない	本機以外で記録した映像ではありませんか？	136
		ディスクナビゲーション以外で本機の映像を編集すると、本機では再生できないことがあります。	136

こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
テレビに再生映像が出ない	テレビの入力切替は正しく設定されていますか？	テレビによってはビデオ入力が増えるものがあります。接続した端子に対応する入力になっているか、確認してください。ビデオデッキに接続しているときは、ビデオデッキの入力切替を「外部入力」(LINE) にしてください。	138
	テレビと正しく接続されていますか？	接続を確認してください。	
	本機の入力切替を「LINE」にしていますか？	「カメラ」モードに変えてください。	141
再生画面が一瞬途切れることがある	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？	ディスクをクリーニングしてください。	37
再生映像の画質が悪い	アナログ方式のビデオ(VHSや8mm)からAV入力映像を録画した映像ではありませんか？	再生側にTBC回路を搭載したビデオデッキを用いると改善される場合があります。	142
再生映像にふれが多い	外部入力で「フレーム」を選択して撮影しませんでしたか？	記録モード設定の「外部静止画入力」を「フィールド」に設定してください。	143
音声がでない	テレビの音量は正しく設定されていますか？	テレビの音量を調節してください。音量は、テレビ側で調節してください。	139

故障かな...と思ったら

故障かな...と思ったら

	こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
	ディスクナビゲーションのサムネイルが表示されない	AV 入出力端子に接続して録画したときに、映像が乱れていませんか？	ノイズや乱れのない映像を録画してください。	—
その他	電源が入らない、ボタンを押しても操作が受け付けられない	—	バッテリーパックおよび AC アダプター／チャージャーを外し、先の細いペンなどでリセットボタンを数秒間押し続けてください。その後、バッテリーパックまたは AC アダプター／チャージャーを取り付けて操作してみてください。また、リセットすると日付と時刻、およびメニューで設定する各項目がすべて初期値に戻るため、日付と時刻を設定し直す必要があります。各設定項目も、必要に応じて設定し直してください。	132
		カメラに強い衝撃を与えませんでしたか？	本機が壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	日付・時刻が合わなくなった	使用しない期間が長期に及びましたか？	内部のバックアップ電池がなくなっている可能性があります。なので、充電してください。	52
	電源を入れるたびに、日付が2000年1月1日になっている	内部のバックアップ電池を充電しましたか？		
	ディスクが取り出せない	回転は止まっていますか？	ディスクの回転が止まるまで、ディスクは取り出せません。しばらく待って、もう一度試してみてください。	49

	こんなときは	お調べください	対処のしかた	参照ページ
	ディスクが取り出せない	電源を切る前にバッテリーパックや AC アダプター／チャージャーを外しませんでしたか？	バッテリーパックまたは AC アダプター／チャージャーをもう一度接続し、電源を入／切して、ディスクのロックが解除される音がしてから取り出してください。	49
	リモコンで操作できない	リモコンをカメラの受光部に向けていますか？	カメラの受光部に向けて操作してください。	54
		カメラの受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が直接当たっていますか？	受光部に強い光が当たっていると、操作できません。カメラの置き場所や角度を調整してください。	
		リモコンに電池は入っていますか？	電池の向きも確認してください。電池がなくなっている可能性もあります。電池を交換してみてください。	53
	カメラの電源は入っていますか？	カメラの電源を入れてください。	57	
ふたが閉まらない	ディスクが正しく挿入されていますか？	ディスクを取り出して、もう一度挿入してみてください。	47	
	誤った向きで挿入していませんか？ ロックされる場所まで挿入していますか？			

故障かな...と思ったら

故障かな...と思ったら



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこのDVDカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または「一般ご相談窓口」(☎ P.163)の窓口にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。

修理を依頼されるときは (持込修理)

本機が正常に動作しないときは、「故障かな...と思ったら」(155~161ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

なお、DVDカメラ本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(記録内容の喪失など)の責については、ご容赦ください。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名：DVDカメラ

形名：DZ-MV100

故障の状況：(できるだけ具体的に)

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育料、測定器等設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張費	商品のある場所への技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

長年ご使用の本機の点検

本機は、信号をDVD-RAMディスクに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。性能を維持するためには、およそ1,000時間をめどに点検(清掃、一部部品交換)されることをお勧めします。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

☎ 0120-3121-68

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

☎ 0120-3121-11

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の お客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5 (日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55 (日立家電守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18 (博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。



主な仕様

CCD (有効画素数)	1/4 型インタレース総画素数約 110 万画素 (動画: 約 72 万画素 / 静止画: 約 100 万画素)
レンズ	F2.0-2.7 f=4.1-49.2mm フィルター径 37mm
画角 (35mm カメラ換算)	動 画: 約 44-528mm 静止画: 約 38-456mm
フォーカス	オートフォーカス / マニュアルフォーカス
ズーム	光学 12 倍 / デジタル併用 48 倍
必要最低照度	18ルクス
ビューファインダー	0.44 型カラー TFT (約 18 万画素)
液晶モニター	3.5 型カラー TFT (約 20 万画素)
手ぶれ補正方式	電子式
シャッター速度	1/60 ~ 1/4000 (動画)
フラッシュ	あり (自動 / 強制 / 禁止) * 静止画モードのみ
セルフタイマー撮影	あり * 静止画モードのみ
外部マイク端子	ステレオミニジャック 3.5mm φ : 推奨マイクインピーダンス 600 Ω ~ 1k Ω
撮影モード	動画 (音声つき) 静止画
最大記録時間 (ディスク両面)	動画 約 60 分 (FINE) 約 120 分 (STND)
最大記録枚数 (ディスク両面)	静止画 1998 枚 ただし動画と混在の場合、枚数が減少します。
記録方式	動 画: DVD ビデオレコーディング規格準拠 (MPEG 音声) 静止画: DVD ビデオレコーディング規格準拠、および、JPEG (1280 × 960 画素) の同時記録
音声再生方式	MPEG、ドルビー AC3
記録メディア	8cm DVD-RAM (DVD-RAM Book2.1 準拠)
端子	映像音声入出力 × 1、S 映像入出力 × 1、外部マイク入力 × 1、デジタル入出力端子 (パソコンの USB 端子へ接続) × 1
バッテリーパックシステム	リチウムイオン
消費電力	液晶画面切 / 録画時約 6.5 W

主な仕様



参 考

外形寸法 (幅×高×奥行)	約 78 × 108 × 166mm (フード、および、突起物含まず)
許容動作温度 (湿度)	0 ~ 40℃ (80%以下) ただしパソコンとの接続時は、0 ~ 35℃
本体質量	約 800g (バッテリーパック、ディスク等含まず)
撮影時総質量	約 960g (バッテリーパック DZ-BP16 使用時)
付属品	AC アダプター / チャージャー、バッテリーパック、DC パワーコード、AV 入出力ケーブル、リモコン、リモコン用単 3 乾電池、レンズキャップ、レンズキャップひも、ショルダーストラップ、電源コード、フェライトコア、DVD-RAM ディスク

AC アダプター / チャージャー (DZ-ACP1) の仕様 ●●●●●

電源	AC 100-240V 50/60Hz
入力容量	40VA (100V 時)
DC 出力	8.0V 2.0A
充電出力	8.4V 2.2A
質量	約 280g (AC アダプター / チャージャー)
外形寸法	幅 65 × 高さ 50 × 奥行き 105mm
動作温度範囲	0 ~ 40℃
許容相対湿度	20 ~ 85%

主な仕様

英数字

8cm DVD-RAM ディスク	31
ACアダプター/チャージャー	
の仕様	165
を使用する	44
AUTO(ホワイトバランス)	77
AV 機器	140
DVD-RAM ディスク	31
の記録容量	50
の残り記憶容量を確認する	133
を入れる	46
をカートリッジから取り出す	34
をカートリッジに入れる	35
を初期化する	134
を取り出す	48
DVD-RAM の規格	31
DVD とは	31
DVD ビデオレコーディング規格	32
FINE(動画モード)	75
HOLD(ホワイトバランス)	77
LINE(入力切替)	141
LINE OFF(外部出力画面表示)	139
LINE ON(外部出力画面表示)	139
PC 接続キット	144
PORTLAIT(プログラム AE)	69
SPORTS(プログラム AE)	69
SPOTLIGHT(プログラム AE)	69
STND(動画モード)	75
SURF&SNOW(プログラム AE)	69
Windows	145

ア行

アイカップ	57
明るさ	76
アクセサリ	150
アフターサービス	162
合わせる	
静止画のピントを	88
日付と時刻を	51
ビデオのピントを	63.72

安全にお使いいただくために	12
入れる	
DVD-RAM ディスクを	46
DVD-RAM ディスクをカートリッジに	35
電源を	57
リモコンに電池を	53
インターバル撮影	84
英数モード	109
液晶明るさ	59
液晶画面	
が暗い	59
再生時	94
撮影時	60
の使いかた	58
の取り扱い	19
録画時	142
を閉じる	59
を開く	58
選ぶ	
シーンを	102
全部まとめて	102
定型句からメモを	110
複数まとめて	102
プログラムを	100
お客様相談センター	163
お手入れ	151
音をマイクで録る	78
オート(ホワイトバランス)	77
オートフォーカス	63

カ行

海外で使う	152
解除する	
スキップを	107
パワーセーブを	129
外部出力画面表示	139
外部静止画入力	143
書き込み禁止	36

確認する	
DVD-RAM ディスクの残り記憶容量を	133
撮影結果を	91
付属品を	24
各部の名称	27
画質	
静止画の	82
動画の	75
カナモード	109
カメラ(入力切替)	141
カメラアクセサリ	150
画面情報	
外部入力映像表示時の	142
再生時の	94
撮影時の	60
を消す(再生時)	94
を消す(撮影時)	61
管理情報	136
記号モード	110
起動する	
ディスクナビゲーションを	98
メニューを	62
逆光	82
キャリングケース	150
切り換える	
画面表示モードを	61
サムネイル表示を	100
静止画の記録方法を	143
動画の記録モードを	75
パワーセーブの時間を	129
日付と時刻の表示方法を	130
プレイリストを	120
プログラム AE のモードを	70
ホワイトバランスのモードを	77
記録一時停止状態	57
記録方法(静止画)	143
記録モード(動画)	75
記録モードスイッチ	62
記録容量	50.133
繰り返し再生する	104
グリップベルト	56

消す	
画面情報を(撮影時)	61
画面情報を(再生時)	94
操作音を	128
結合する	115
故障	155
ご相談窓口	163
ご注意ください	23
コマ送り・コマ戻し	93
コンセントにつなぐ	44

サ行

サーフ&スノーモード(プログラム AE)	69
再生時に使用するボタン	90
再生時の画面情報	94
再生する	
映像を	90.104
繰り返し	104
静止画だけを	105
プレイリストを	120

探す	
映像を	92
場面を	92

削除する	
シーンを	106
プレイリストを	123

撮影結果を確認する	91
撮影時に使用するボタン・スイッチ	62
撮影時の画面情報	60
撮影枚数	50
撮影モード(プログラム AE)	69

サムネイル表示	96.98
を切り換える	100

時刻	51
システムリセット	132
自分を撮る	74
シャッタースピード	82

充電する	
内蔵電池を	52
バッテリーパックを	38
充電マーカー	43

修理 162

終了する
ディスクナビゲーションを 98
メニューを 62

寿命(バッテリーパックの) 42

準備
バッテリーパックの 38
ビデオカメラの 46
リモコンの 53

仕様 164

使用上の注意 19

情報
外部入力映像表示時の 142
再生時の 94
撮影時の 60
を消す (再生時) 94
を消す (撮影時) 61

情報液晶画面 61, 147

情報表示モード 61, 94

初期化 134

初期設定 131

ショルダーストラップ 26

シーン
に特殊効果を付ける 112
にメモを付ける 109
の情報を表示する 116
を選ぶ 102
を繰り返し再生する 104
を結合する 115
を再生する 104
を探す 92
を削除する 106
を全部まとめて選ぶ 103
を飛ばす 109
を複数まとめて選ぶ 102
をプレイリストに追加する 119
をプレイリストに登録する 117
を分割する 114
を編集する 98
を見る 91
スキップ 107, 108
スポーツモード(プログラムAE) 69

スポットライトモード(プログラムAE) 69

ズーム 65

スライドプレイ 105

静止画
だけを再生する 105
の記録方法を変更する 143
のマニュアルフォーカス 88
を撮る 80

接写 73

接続する
他のAV機器と 140
テレビと 138
パソコンと 147

設定項目一覧 132

設定する
スキップを 107, 108
日付と時刻を 51
ビデオカメラを 127

設定リセット 131

セルフノインターバル 85, 86

セルフタイマー 86

全押し 80

選択ダイヤル 51, 66

全プログラム 95

操作
ズームの 65
ディスクナビゲーションの 99

操作音 128

タ行

ためし撮り 23

調節する
映像の明るさを 76
静止画のピントを 88
動画のピントを 72
露出を 76

著作権 23

使いかた
液晶画面の 58
ディスクナビゲーションの 95
ビューファインダーの 57
リモコンの 54

つなぐ
他のAV機器と 140
テレビと 138
パソコンと 147

露つき 21

定型句 110

定型モード 110

ディスク 31

ディスクナビゲーション 95

データの構造 95

データをパソコンに取り込む 144

デジタルズーム 65, 68

手振れ補正 71

テレコンバージョンレンズ 150

テレビ 138

電源を入れる 57

動画撮影時のピント合わせ 63, 72

動画の記録モード 75

動画モード 64

動画を撮る 64

特殊効果 112

閉じる
液晶画面を 59
ディスクナビゲーションを 98

飛ばす (シーンを) 107

取り出す
DVD-RAMディスクを 48
DVD-RAMディスクをカートリッジから 34

撮る
至近距離から 73
自分を 74
静止画を 80
ビデオ (動画) を 64

ナ行

日時を合わせる 51

入力切替 141

入力する 109

ハ行

パソコン
Windows 144
と接続する 147
にデータを取り込む 144

パソコン接続キット 144

バッテリーパック 38
の寿命 42
の準備 38
の記録時間 39
の廃棄方法 42
を充電する 38
を取り付ける 40
を取り外す 41

場面を探す 92

パワーセーブ 65, 129

範囲選択 103

半押し 80

日付セット 51

日付と時刻
の表示方法を変更する 130
を設定する 51

日付モード 130

日付を選ぶ 100

ビューファインダー 57

ビューファインダーの表示
再生時 94
撮影時 60
録画時 142

表示
液晶画面の 60, 94, 142
サムネイル 98
情報液晶画面の 61, 147
シーン情報の 116
ビューファインダーの 60, 94, 142
プレイリストのサムネイル 120

開く
液晶画面を 58
ディスクナビゲーションを 98
メニューを 66

ピントを手動で合わせる	
静止画	88
動画	72
フィールド(外部静止画入力)	143
フェード(特殊効果)	112
フェライトコア	25
付属品	24
フラッシュ	82,83
プレイリスト	
からシーンを削除する	106
にシーンを追加する	119
にタイトルを付ける	122
を再生する	120
を削除する	123
をサムネイル表示する	120
を作る	117
を編集する	121
フレーム(外部静止画入力)	143
プログラム	95
プログラムAE	69
分割する	114
別売品	150
変更する	
静止画の記録方法を	143
パワーセーブの時間を	129
日付と時刻の表示方法を	130
編集する	
シーンを	96
プレイリストを	121
保管上の注意	22
保証	162
ポートレートモード(プログラムAE)	69
ホールド(ホワイトバランス)	77
ホワイトバランスのモード	77

マ行

マイク	78
マイクフィルター	79
マニュアルフォーカス	
静止画撮影時	88
動画撮影時	72

見る	
テレビで	138
撮った映像を	91
メッセージ	
ディスクナビゲーションの	124
ビデオカメラの	153
メニュー	66
メモ	109
文字	109
持ちかた	56
モノトーン(特殊効果)	112

ラ行

ライトプロテクト	36
リセット	
システムの	132
設定の	131
リピートプレイ	104
リモコン	53
レンズキャップ	26
録音する	78
録画時間(DVD-RAM ディスクの)	50
録画する	141
露出	76

ワ行

ワイドコンバージョンレンズ	150
ワイプ(特殊効果)	112

この装置は第二種情報装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で、住宅地域での電波障害防止を目的とした、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しています。

しかし、本装置をラジオ・テレビジョン受信機などに近隣してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ラジオやテレビの近くで使用した場合、電波の状況によりラジオやテレビの受信に影響を及ぼすことがあります。このようなときは、次のように処置してください。

- 影響が出なくなるまで、本機をラジオやテレビから十分離してお使いください。
- 本機は、ラジオやテレビとは別のコンセントをお使いください。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

PentiumおよびCeleronはIntel Corporationの商標です。

IBM PC/ATは米国IBM社の登録商標です。

ドルビーラボラトリーからの実施権に基づき製造されています。

「Dolby」、ダブルD記号はドルビーラボラトリーの商標です。

非公開機密著作物。著作権1992-2000年ドルビーラボラトリー。不許複製。

その他、各会社名・各製品名は各社の商標または登録商標です。

